



2017 年度
豊岡市政策モニタリング調査
報告書

2017 年 7 月

豊岡市 政策調整課

2017年度 豊岡市政策モニタリング調査 報告書

< 目 次 >

1	調査概要	1
2	調査結果	2
2.1	回答者の属性	3
2.2	安全・安心のまち	5
2.3	健康長寿のまち	9
2.4	環境に優しいまち	11
2.5	おもてなし観光のまち	14
2.6	交通の便利なまち	17
2.7	子育てに優しいまち	23
2.8	エコ農業のまち	26
2.9	住みたいと思うまち	29
3	参考データ	32
4	テクニカル・ノート	62
5	調査票	64

1. 調査概要

1. 1 調査報告書作成の目的

本調査報告書は、豊岡市の政策評価で用いている戦略体系図の改善に寄与し、施策の成果を最大化させることを目的としている。そのために、統計分析とその考察に加え、事業を効果的に行うための推論と提案を行った。また、戦略体系図とモニタリング調査の関係について建設的な考察を行い、戦略体系図の改善のための検討材料を提供することに努めている。

施策担当課では本考察と異なった議論も予想され、市民ワークショップではさらに多様な議論がなされるであろう。しかし、そのような多様性の中からこそ、成果を上げるための改善の視点が生まれるものと考えられる。本調査報告書は、そのための契機として活用されることを期待するものである。

1. 2 調査史

豊岡市では、2013年度からより実効性の高い新たな行政評価の試みとして、「協働型プログラム評価（*豊岡市では「戦略的政策評価」と呼称）」を導入した。そして、その評価活動の一環として、2014年度から「政策モニタリング調査」を実施している。次の8つの重点施策の進捗状況をモニタリングするため、昨年度に引き続き調査を行った。

- | | | |
|--------------|-------------|-------------|
| ① 安全・安心のまち | ② 健康長寿のまち | ③ 環境に優しいまち |
| ④ おもてなし観光のまち | ⑤ 交通の便利なまち | ⑥ 子育てに優しいまち |
| ⑦ エコ農業のまち | ⑧ 住みたいと思うまち | |

1. 3 調査内容

(1) 実施概要

本調査の実施概要は次表に示す通りである。

■ モニタリング調査の実施概要

区分	摘要
調査対象	市内在住の方から18歳以上の3,000人を無作為抽出
調査方法	郵送配布、郵送回収
調査日	平成29年4月20日～5月12日（5月22日受付分までを有効票とした）
配布数/回収数	3,000票/1,369票（回収率45.6%）
実施主体	豊岡市 ・担当：政策調整部政策調整課 行政改革係 ・電話：0796-21-9022

(2) 集計及び分析

- ・集計及び分析は、「無回答」を除いた有効回答を対象に算出している。
- ・集計結果は小数点第2位を四捨五入しており、表示の比率の合計が100%にならない場合がある。
- ・複数回答の設問（[MA]と表示）では、比率の合計が100%を超える場合がある。

2. 調査結果

本章では、調査票から得られたデータの記述と分析を行う。各質問項目の記述統計については、「3. 参考データ」に度数テーブルを掲載している。2.1において回答者の属性について、2.2~2.9において各施策の分析を行った。

全項目について前年度と比較するために表1を作成した。表のうち、網掛けの質問項目は2016年度と比較して統計的に有意な変化が見られた項目であり、上昇した質問項目には『有[増]』、低下した質問項目には『有[減]』と記した。

表1：2016-2017年度データの比較（t検定）

		2016年度 平均値	2017年度 平均値	(2017-2016) 平均値の差	統計的 有意性	
安全・安心	問7：災害時「助け合い行動」がとれる	3.46	3.45	-0.01		
	問8：防災訓練に参加したことがある	2.21	2.19	-0.02		
(問9：災害への備え・・・消火器、火災報知器など複数選択)						
健康長寿	問10：自分は健康だと思う	2.60	2.62	0.02		
	(問11：健康づくりのところがけ・・・食生活、歯の健康など複数選択)					
	問12：健康のために運動をしている	2.40	2.28	-0.12	有[減]	
	問13：運動を継続している期間	3.51	3.54	0.03		
	問14：健康づくりをする仲間がいる	2.52	2.43	-0.09		
環境	問15：健康づくりの環境が整っている	2.87	2.89	0.02		
	問16：豊岡市は環境に優しいまちだ	3.21	3.21	0.00		
	問17：豊岡市は経済的に豊かになっている	2.34	2.39	0.05		
	問18：日常生活で省エネを意識している	3.66	3.65	-0.01		
	問19：環境に配慮した商品を購入している	3.17	3.17	0.00		
おもてなし	問20：環境への取組みは経済にもプラスだ	3.44	3.39	-0.05		
	問21：豊岡市は観光客で活気あるまちだ	2.64	2.66	0.02		
	問22：自分の地域にもっと観光客が来てほしい	3.54	3.47	-0.07	有[減]	
	問23：市外の人に豊岡を観光先として勧めたい	3.42	3.32	-0.10	有[減]	
	(問24：観光ボランティアに関わっているか・・・はい、いいえを選択)					
交通	問25：観光ボランティアに関わってみたい	2.50	2.48	-0.02		
	(問26：豊岡市の魅力的な観光資源・・・城崎温泉、城下町出石など順位選択)					
	問27：豊岡市の公共交通は便利だ	2.13	2.11	-0.02		
	問28：公共交通を使うよう心がけている	2.03	2.12	0.09	有[増]	
	(問29：公共交通機関を使う目的・・・通勤・通学、通院などから1つ選択) (問30：必要な公共交通・・・バス、タクシーなど順位選択) (問31：ビジネス・レジャーの主な移動手段・・・鉄道、バスなどから1つ選択)					
子育て	問32：豊岡市は子育てに優しいまちだ	2.94	2.96	0.02		
	(問33：子育て支援ボランティアに関わっているか・・・はい、いいえを選択)					
	問34：子育てボランティアに関わってみたい	2.78	2.72	-0.06		
	問35：市の子育て支援サービスを活用している	3.09	3.13	0.04		
エコ農業	問36：子育てを楽しんでいる	3.30	3.29	-0.01		
	問37：無農薬・減農薬志向	3.42	3.37	-0.05		
	問38：コウノトリの舞認知度	2.10	2.06	-0.04		
(問39：購入しない理由・・・価格、食味など複数選択)						
住みたい	問40：豊岡で暮らす価値と魅力度	3.25	3.16	-0.09	有[減]	
	問41：将来帰ってきてほしい	3.49	3.52	0.03		
	問42：市外若者の転入は良いことだ	3.88	3.88	0.00		

注釈) 下記に例示するよう回答を点数化し、平均点を算出した。

(とてもそう思う：5点、そう思う：4点、分からない：3点、思わない：2点、全く思わない：1点)

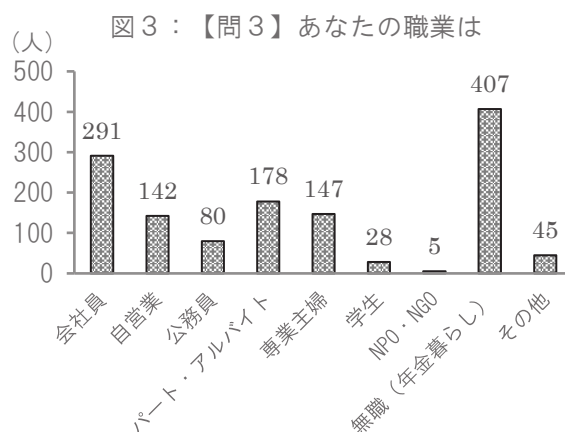
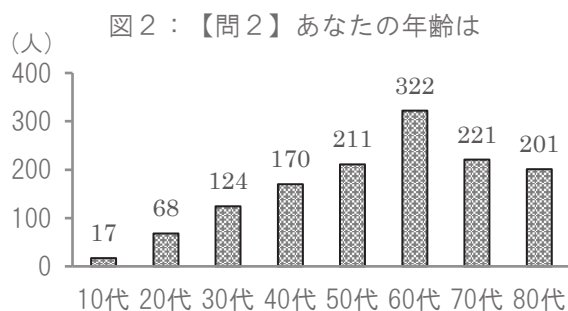
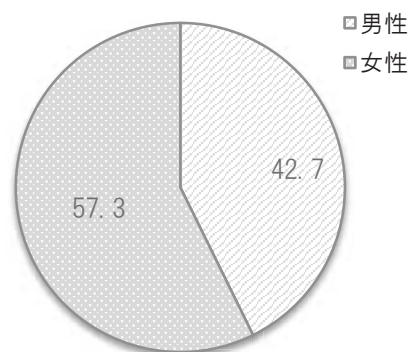
2.1 回答者の属性

アンケートに回答いただいた回答者の男女比は、男性 42.7%、女性 57.3%であり、調査実施時の人口構成比（男性 48%、女性 52%）より女性の方が多【図 1】。

年齢【図 2】は下図のとおり分布しており、60代が最も多く全体の 24.1%を占めていた。なお、10代が 1.3%と低かったが、これはモニタリング対象を 18 歳以上としたことの影響である。

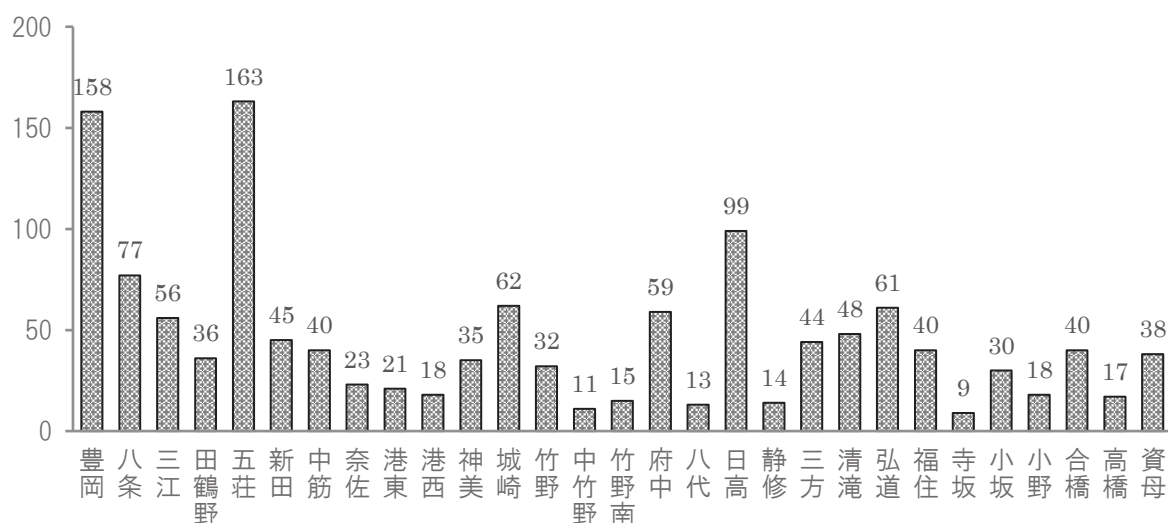
昨年度までの傾向から、無職（年金暮らし）の選択肢を今年度から新設した。その結果、回答者の職業【図 3】では、無職（年金暮らし）（30.8%）が最も多くなった。次いで、会社員（22.0%）、パート・アルバイト（13.5%）となった。

図 1：性別 (%)



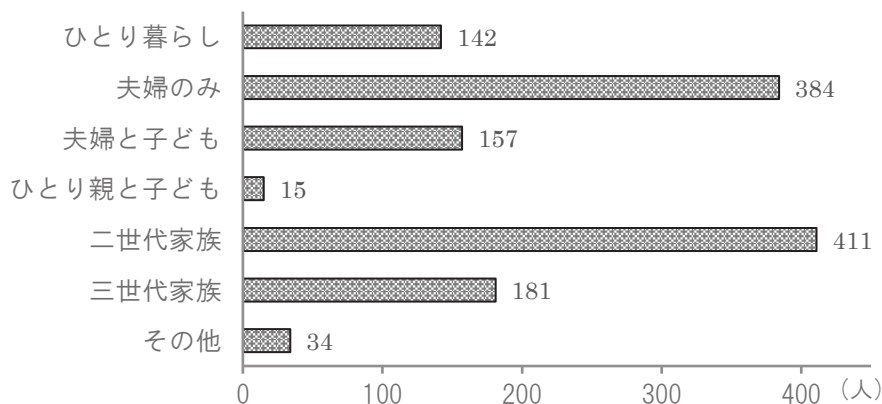
回答者が住んでいる小学校区【問 4】では、市街地である五荘(12.3%)、豊岡(12.0%)、日高(7.5%)が多くなっている【図 4】。

図 4：【問 4】あなたがお住いの小学校区は



回答者の家族形態は、夫婦のみ（29.0%）、二世世代家族（31.0%）で全体の過半数を占めていた【図5】。なお、小学生以下の子どもがいると回答した市民の、その世帯の平均子ども数（小学生以下）は、1.7人で昨年度とほぼ同じであった。

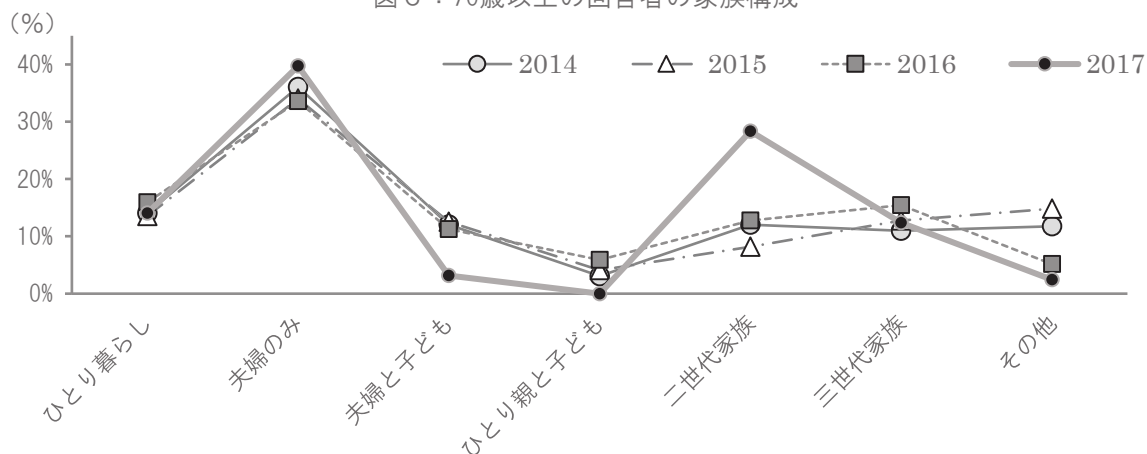
図5：【問5】あなたの同居家族の構成は



全回答者から、【問2】で「⑦70代」、「⑧80代以上」と回答したデータを抽出し、同居家族の構成を再集計したところ、下図の結果を得た【図6】。2017年度データでは、ひとり暮らし（14.0%）、夫婦のみ（39.7%）で全体の過半数を占めていた。全回答者での割合は、ひとり暮らし（10.7%）、夫婦のみ（29.0%）で合計39.7%にとどまっていることから、70代以上の単身或いは夫婦のみの世帯の占める割合は、他の世代よりも多いと言える。この傾向は過去の調査結果と同様であり、施策の展開にあたっては、老年世帯に配慮した取組みが必要であると思われる。

なお、今年度は【問5】の選択肢「その他」の記述内容を精査し、それぞれの該当項目に当てはまるものについては、その選択肢を選択したものとして処理している。二世世代家族が増加した主な理由はそのためである。

図6：70歳以上の回答者の家族構成



2.2 「安全・安心のまち」

【単年度分析】

- ・助け合い行動に対する意識と防災訓練への参加経験の間には、統計的に有意な関係がある。
- ・不参加者は低年齢層が多い。

【経年分析】

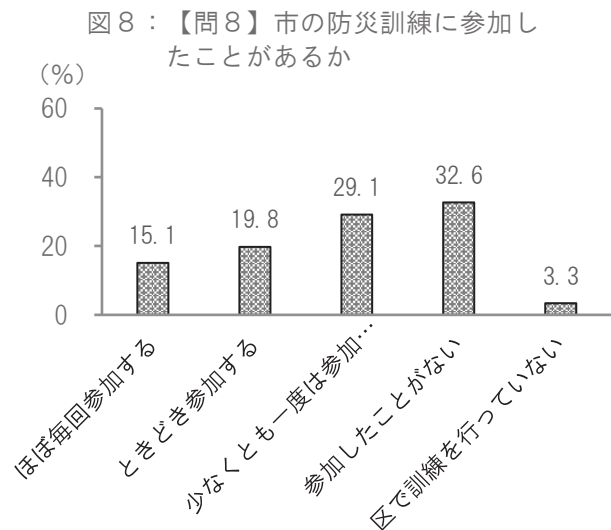
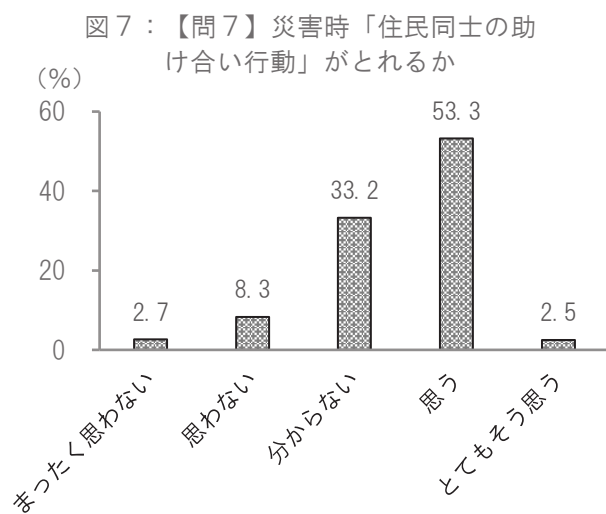
昨年度初めて行われた市民総参加訓練の効果が下記の点に見られる。

- ・「区で訓練を行っていない」と回答した割合が大幅に減少した。
- ・災害に対する備えのうち「避難場所の確認」「避難ルートの確認」「有事の助け合い」の3項目において向上が見られる。

【改善の論点】

- ・訓練に参加した市民が、確実に「助け合い行動がとれる」と思えるようになるためには、どのような訓練内容にすべきだろうか。
- ・訓練に参加した男性が「助け合い行動がとれる」と意識できるようになるためには、どうすればよいだろうか。
- ・若い年代の不参加者にアプローチすることが必要である。どのような方法が考えられるだろうか。

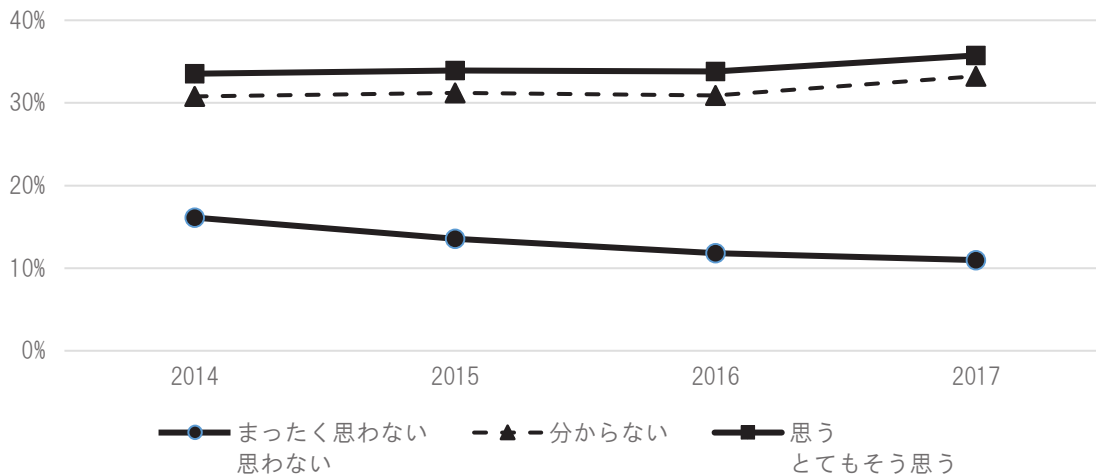
災害時の「助け合い行動」について、半数以上（55.8%）の市民が「助け合い行動がとれると思う」と回答している【図7】。また、市や区が実施する防災訓練に、参加したことがある市民は64.0%である【図8】。



「助け合い行動がとれると思う」という意識と、防災訓練への参加経験の間には、統計的に有意な相関関係が見られた ($r=0.23$, $p<0.01$)。これは、「助け合い行動」への意識の高さと、訓練への参加頻度の高さには相互に関係があり、一方が高いと他方も高まる傾向があることを意味している。これは、昨年度と同様の傾向である。

前年度比較では統計的に有意な増加はなかったものの、経年の経過をみると「助け合い行動がとれると思う」という意識は2014年度に比べ統計的に有意に改善している ($t=2.5$, $p<0.05$) と言える。経年の意識の変化の内容をみると、「思わない」「まったく思わない」は減少している【図9】。そこで、今後は「分からない」と回答している市民が「思う」「とても思う」へと変わっていくことをねらった作戦が必要だと思われる。

図9：助け合い意識の変化



そこで、「分らない」と回答した市民の防災訓練参加状況をみた【表2】。すると、その内訳は、訓練に参加したことがある市民と訓練に参加したことがない市民はほぼ半々であった。このことから、訓練に参加した人が確実に「助け合い行動がとれると思う」ことができるように、訓練内容の検討や訓練前後のフォローが必要ではないかと考える。

表2：【問7】に「分らない」と回答した市民の【問8】の回答内容

ほぼ毎回参加する	ときどき参加する	少なくとも一度は参加したことがある	参加したことがない	区で訓練を行っていない	合計
32	65	121	202	11	431
7.4%	15.1%	28.1%	46.9%	2.6%	100.0%

また、訓練に参加した市民を性別で考えた場合【表3】、以下のようなクロス表を作成しカイ2乗検定を行い、さらにt検定により男女のグループ別の差をみた。すると男性の方が、訓練に参加しても助け合い行動をとれると思わない傾向があることがわかった ($t=-2.1, p<0.05$)。このことから考えると、訓練参加者への効果を一層効果的なものにするためには、訓練に参加した男性の「助け合い行動」への意識を高めるような、訓練や訓練前後の働きかけについて議論が必要だと思われる。

表3：訓練参加者における性別による【問7】回答の違い

	まったく思わない	思わない	分らない	思う	とても思う	合計
男性	12	36	92	229	12	381
女性	4	23	120	271	14	432
合計	16	59	212	500	26	813

カイ2乗値=11.1 (df=4, $p<0.05$)

昨年度までの本調査で、若い年代の不参加者について分析を行ってきた。今年度も同様に、訓練への参加経験の有無によって年齢と「助け合い意識」の傾向に違いがあるかを調べるため、以下のようなクロス表を作成しカイ2乗検定を行った。いずれも「不参加」グループと「参加」グループの間に統計的に有意な差が認められた【表4、表5】。また、t検定により「不参加」グループの年齢は「参加」グループの年齢よりも統計的に有意に低い ($t=-5.3, p<0.01$) ということと、「不参加」グループの助け合い意識は「参加」グループの意識よりも統計的に有意に低い ($t=-7.6, p<0.01$) という結果を得た。

この結果から、若年層の不参加は改善されていないと言える。また、例年同様、不参加

者の助け合い意識は、参加者の助け合い意識よりも低い。したがって、どのようにすれば若者が訓練に参加するようになるのかについて、多様な関係者と議論することが必要であろう。

表4：防災訓練への参加度数と年齢

		【問8】防災訓練への参加		合計
		不参加	参加	
【問2】 年齢	10代	9	8	17
	20代	48	17	65
	30代	81	43	124
	40代	58	109	167
	50代	59	148	207
	60代	65	242	307
	70代	48	159	207
	80代以上	94	95	189
合計		462	821	1283

カイ2乗値=153.5 (df=7, p<0.01)

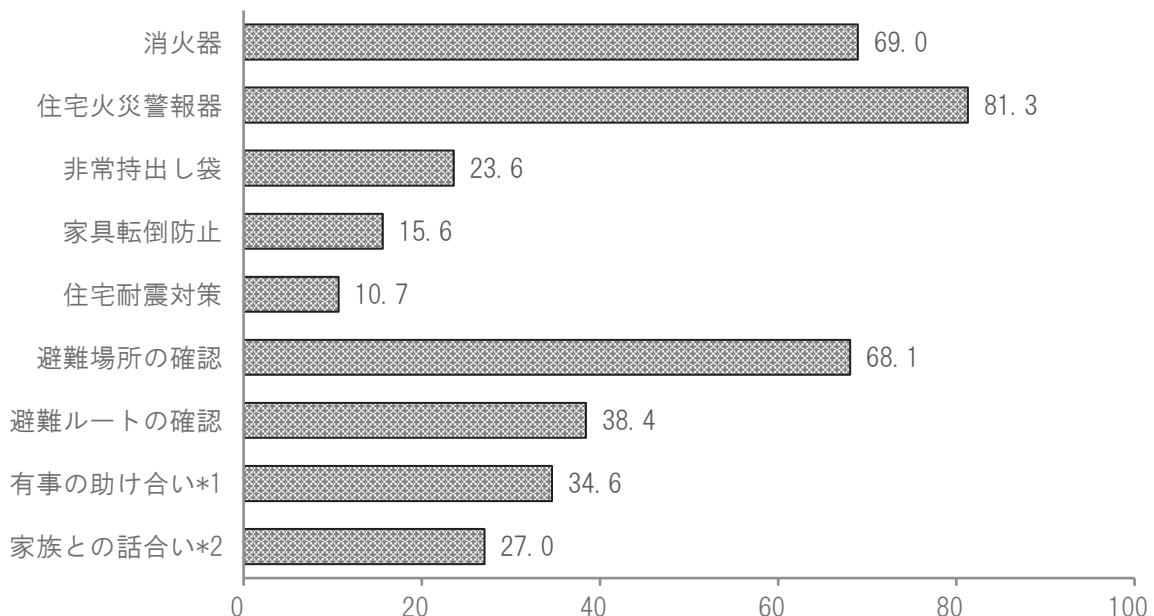
表5：防災訓練への参加度数と有事の際に助け合い行動がとれると思うか

		【問8】防災訓練への参加		合計	
		不参加	参加		
【問7】 助け合い える	全く思わない	19	16	35	
	思わない	49	60	109	
	分からない	213	218	431	
	思う	183	513	696	
	とてもそう思う	6	26	32	
	合計		470	833	1303

カイ2乗値=75.1 (df=4, p<0.01)

「災害への備え」に関する設問についても、全体的に昨年度までと同様の結果であった。「消火器の設置」、「住宅火災警報器の設置」、「避難場所の確認」を実践していると回答した市民の割合は高く、6割を超える市民が実践しているが、「家具の転倒防止」、「住宅耐震対策」の実践は2割未満にとどまっている【図10】。特に低いこれらの項目を改善するための作戦を考える時期にきているのではないだろうか。

図10：【問9】災害への備えを実践しているか (MA)



*1 有事の際、助けが必要な（または自分を助けてくれる）近所の人を認識している (%)

*2 有事の際の避難行動（避難場所や連絡の方法など）について、家族と話し合っている

もちろん、改善した項目も多くみられる。「区で訓練を行っていない」と回答した市民の割合は昨年度の6.1%から3.3%に減少した。また、「避難場所の確認」「避難ルートの確認」「有事の助け合い」の3項目について、該当に○を記入した回答を「はい」、○のない回答を「いいえ」としてクロス表を作成しカイ2乗検定を行ったところ、この3項目については統計的に有意に改善していた【表6】。これは、市民総参加訓練の効果と思われる。

表6：災害に備えて実践していることで改善している項目

	年度	いいえ	はい	
避難場所確認	2016	523	921	カイ2乗=5.78 (df=1、p<0.05)
	2017	437	932	
避難ルート確認	2016	972	472	カイ2乗値=10.1 (df=1、p<0.01)
	2017	843	526	
助けが必要な (助けてくれる)人の確認	2016	996	448	カイ2乗値=4.13 (df=1、p<0.05)
	2017	895	474	

市民総参加訓練の効果は大きく、様々な面で改善をもたらした。市民総参加訓練の継続的な実施はもちろんのこと、他の調査項目でも改善が見られるように、訓練内容の見直し・工夫を行っていくことが重要ではないだろうか。また、市民総参加訓練によってでもカバーできない部分の改善について、既存施策の改善や新規施策の立案と実施に取り組む必要があると思われる。

2.3 「健康長寿のまち」

【単年度分析】

- ・ 60.1%の市民が「自分が健康だと思う」と感じている。
- ・ 健康だと思っている市民はそうでない市民より健康づくりを心がけている。
- ・ 運動頻度と継続期間の間には正に有意な相関がある。

【経年分析】

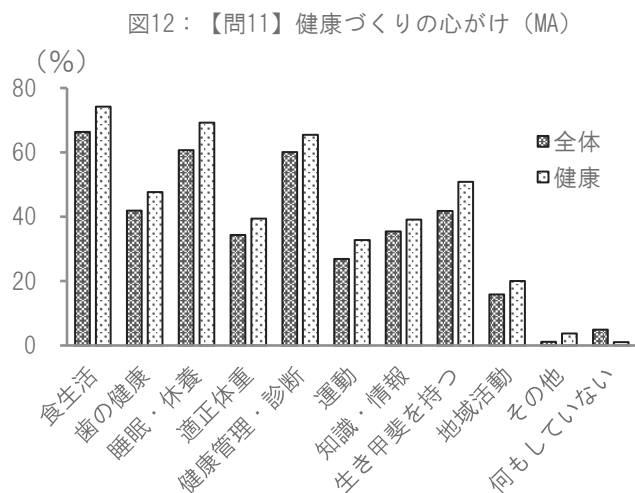
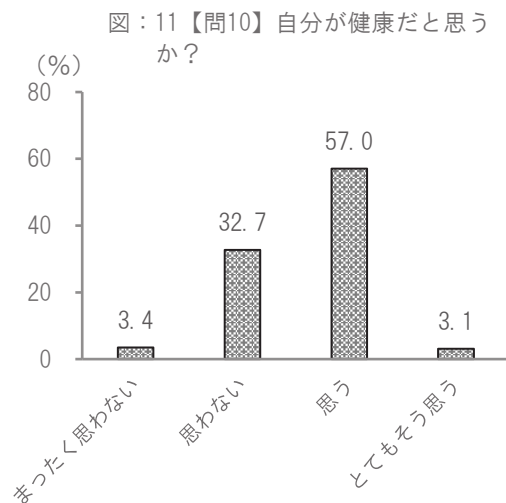
- ・ 昨年度に比べ運動の頻度は統計的に有意に減少している。

【改善の論点】

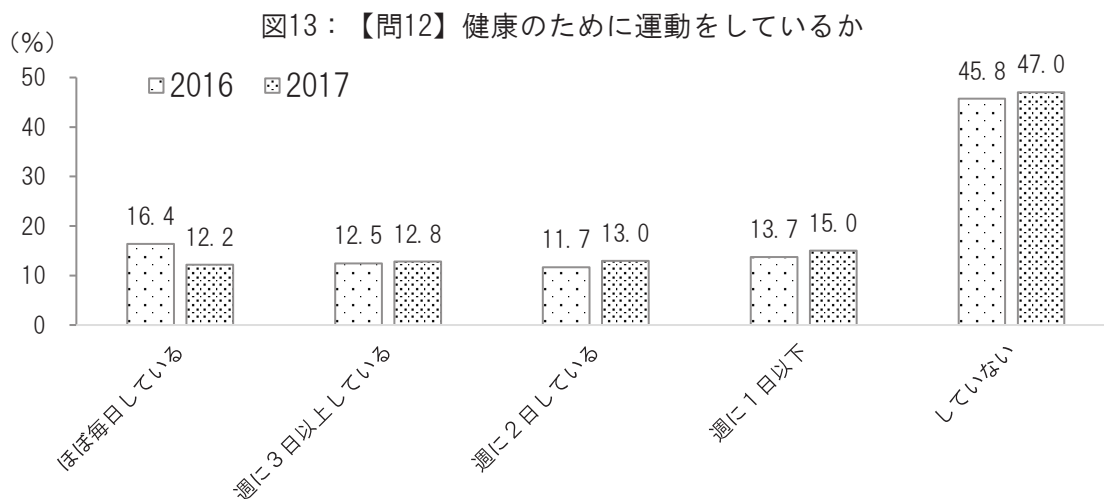
- ・ 運動習慣が特に低いと思われる性別と年代がある。その対象者に運動を始めてもらうためには、どのように運動教室を改善すればよいだろうか。

現在の健康状態について、60.1%の市民が「健康だと思う(そう思う・とてもそう思う)」と回答しており【図11】、「健康だと思う」と回答した市民は、回答者全体に比べて、「健康づくりの心がけ」の全ての項目において、高い割合で「心がけ」を実践している【図12】。

また、「何もしていない」と回答した市民は全体でも5.0%にとどまっており、大多数の市民が何らかの「心がけ」を実践している。



健康維持・増進のための運動習慣については、「1日30分以上の運動を週2日以上」を行っている市民は38.0%、一方、30分以上の運動を「していない」市民は47%であった【図13】。これは、昨年度と比較すると運動の頻度は統計的に有意に減少していることになる ($t=-2.1, p<0.05$)。昨年度と比べて性別や年齢に統計的に有意な差はなく、また他の質問の回答についても有意な増減は認められない。また、この有意な減少は今年度初めてみられた現象でもあるので注目する必要があると思われる。



では、どのように市民へアプローチすれば減少対策になるのだろうか。このことを考えるために、まず、運動をしていない人の内訳をみた【表7】。ここからも明らかなように、「運動の習慣」と「運動する仲間の存在」には正に有意な相関が認められている ($r=0.37$, $p<0.01$)。また、例年どおり、運動頻度と継続期間の間には正に有意な相関が認められている ($r=0.27$, $p<0.01$)。これらのことから、運動習慣を持たない市民に運動を始める「きっかけの場」を提供することの重要性が確認できる。したがって、「運動する仲間の存在」と「きっかけの場」を作る「玄さん元気教室」や「職場対抗“歩キング”選手権」を継続することは非常に重要であると考えられる。

表7 【問12】に「していない」と回答した市民の運動する仲間の存在

	まったくいない	あまりいない	どちらともいえない	まあまあいる	たくさんいる	計
運動していない人の内訳	257	201	77	47	6	588

では、「玄さん元気教室」や「職場対抗“歩キング”選手権」をどのような方向に改善すればよいだろうか。

まず、年齢と運動習慣に正に有意な相関が認められており ($r=0.23$, $p<0.01$)、若年層へのアプローチが重要であると言えるだろう。さらに、運動習慣の低い(「週に1日以下」と「していない」)市民について分析した。以下のようなクロス表を作成し【表8】カイ2乗検定(残差分析)を行った。すると、60代と80代で統計的に有意な男女差が認められ、さらに昨年度までのデータでも同じ傾向がみられることも分かった。したがって、運動習慣の低い60代男性と80代女性がターゲットであり、ここから新たな参加者を取り込み、運動を継続してもらう必要があるのではないだろうか。

表8： 運動習慣の低い層の性別・男女別クロス表

	年齢	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	合計
男性	度数	6	38	71	114	147	219	134	76	805
	調整済残差	-0.4	-0.4	-1.4	0.1	-0.7	** 2.2	1.9	** -2.7	
女性	度数	9	51	108	139	194	225	133	134	993
	調整済残差	0.4	0.4	1.4	-0.1	0.7	** -2.2	-1.9	** 2.7	

カイ2乗値=15.8 (df=7, $p<0.05$)

注) 調整済残差・・・ ** 1%水準で有意

以上のことを参考にしながら、「玄さん元気教室」と「職場対抗“歩キング”選手権」の改善や新たな施策の立案が必要だと思われる。

2.4 「環境に優しいまち」

【単年度分析】

- ・省エネ意識と環境に配慮した商品購入には正に有意な相関がある。
- ・年齢と省エネ意識、年齢と環境に配慮した商品購入は正に有意な相関がある。

【経年分析】

- ・質問項目の回答に大きな変化はない。

【改善の論点】

- ・戦略目的及び手段 03 以下を具体的な行動や状態を想起できるものに改善する時期にきているのではないだろうか。

まず、省エネ意識と環境に配慮した商品購入には正の有意な相関がみられた ($r=0.45$ 、 $p<0.01$)。また、年齢と省エネ意識、年齢と環境に配慮した商品購入にも、正の有意な相関がみられる ($r=0.15$ 、 $p<0.01$ 、 $r=0.19$ 、 $p<0.01$)。これは例年同様の結果であり、低年齢層の意識を向上させることが継続して必要であろう。したがって、「環境経済勉強会」や「健康・環境ポイント制度」などの事業において、低年齢層をターゲットにした改善が必要ではないだろうか。この点に関して関係者との議論が必要だと思われる。

「環境に優しいまち」に関する全質問項目について経年変化をみると【表9～表13】、例外として、2015年度に環境に配慮した商品購入の回答が有意に悪化しているのを除けば ($t=-2.58$ $p<0.05$)、統計的に有意な変化がみられるものがない。なお、2014年度と2017年度の変化でも、省エネ意識だけが統計的に有意に減少しているだけである ($t=-3.8$ 、 $p<0.01$)。しかも、これは社会全体の状況が影響していることも考えられるため、豊岡市固有の変化であるとは言えない可能性もある。

表9：【問16】環境に優しいまちだと思うか

	まったく思わない	思わない	分からない	思う	とてもそう思う
2014	2.8%	16.7%	41.8%	37.2%	1.6%
2015	2.4%	14.0%	45.2%	37.4%	1.1%
2016	2.6%	15.1%	42.7%	38.3%	1.4%
2017	2.0%	15.1%	44.3%	37.3%	1.2%

表10：【問17】経済的に豊かになってきていると思うか

	まったく思わない	思わない	分からない	思う	とてもそう思う
2014	14.2%	44.9%	33.1%	7.7%	0.2%
2015	15.3%	43.4%	35.0%	6.2%	0.1%
2016	13.6%	45.8%	33.6%	6.7%	0.3%
2017	11.4%	46.5%	34.7%	6.9%	0.5%

表11：【問18】省エネを意識意識しているか

	まったくしていない	していない	分からない	している	とてもしている
2014	0.8%	9.0%	9.2%	75.3%	5.6%
2015	1.0%	12.1%	7.3%	73.7%	5.8%
2016	1.1%	13.3%	9.0%	71.4%	5.2%
2017	1.1%	13.4%	9.9%	70.9%	4.7%

表12：【問19】環境に配慮した商品を購入しているか

	まったくしていない	していない	分からない	している	とてもしている
2014	1.7%	21.8%	23.4%	51.1%	1.9%
2015	2.0%	25.9%	23.9%	45.9%	2.3%
2016	2.3%	26.8%	23.5%	45.7%	1.6%
2017	2.0%	26.6%	24.4%	45.9%	1.0%

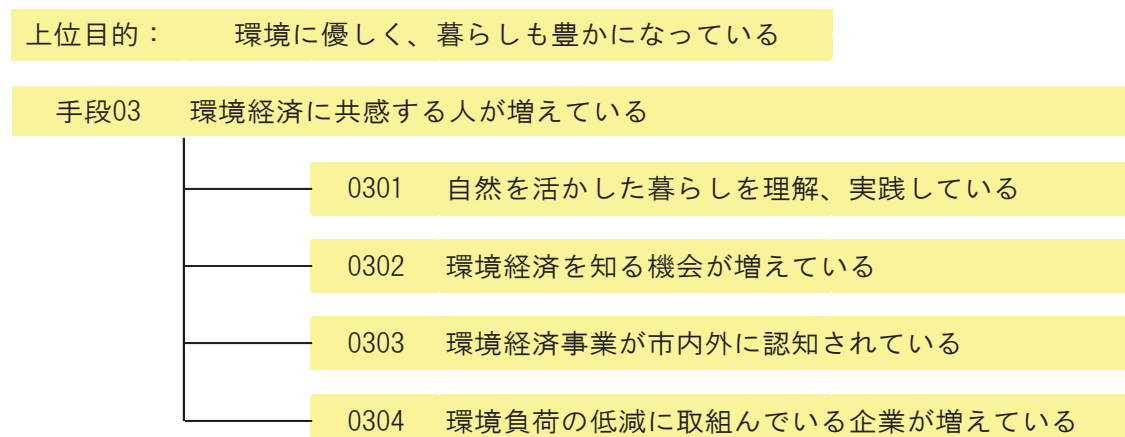
表13：【問20】環境取り組みが豊岡市の経済にプラスになっているか

	まったく思わない	思わない	分からない	思う	とてもそう思う
2014	1.6%	8.2%	39.1%	47.6%	3.5%
2015	2.2%	9.9%	37.2%	47.6%	3.2%
2016	1.4%	8.9%	37.7%	48.5%	3.5%
2017	1.3%	9.2%	41.0%	45.9%	2.6%

最初に述べたように、いくつかの相関がみられるものの、戦略体系図の改善につながる有意義な分析を行うことができなかった。その理由について当課で考察した。議論の参考にさせていただきたい。

まず、調査票の質問項目が戦略体系図のどの手段の効果について計測しようとしているか整理を行った。現在の戦略体系図の中から、調査票で計測した意識に関する部分は下の【図14】のとおりである。【問16】及び【問17】は、上位目的にかかわる意識を尋ねた項目である。ここで考えられるのは、【問16】の「環境に優しいまち」という表現の意味が抽象的であるため、回答する市民が「環境にやさしいまち」を想定しにくいということである。「わからない」と回答した市民が常に4割を超えているのは、そのためであろう。さらに、この2つの質問は「豊岡エコバレー」というまちづくりの目標に対し、それが達成されていると市民が感じているかどうかを質問したいはずである。そのためには、「豊岡エコバレー」が示している内容を質問する側が明確にした上で、それを質問の言葉と一致させて回答者に提示する必要があるだろう。

図14：豊岡エコバレーの実現戦略体系図（抜粋）



次の【問18】と【問19】は手段0301について聞いている。【問18】と【問19】の回答は互いに相関があることから ($r=0.45$, $p<0.01$)、両者は近い関係にある質問であると言え

る。しかし、質問内容について考えると「自然を生かした暮らし」が「省エネを意識することや「環境に配慮した商品を購入する」ことなのかどうかは議論のあるところであろう。また、ここ豊岡市で「自然を生かした暮らし」とは何なのか、つまり、豊岡市が目指している豊岡型ライフスタイルとは何なのか、について市民に分かる言葉で質問する必要があると思われる。このことを明らかにすれば、手段 0301 について豊岡市の市民の意識を調べる際、豊岡市が掲げる固有の自然を生かした暮らしの具体的な行動（活動・習慣）の実践について聞くことができるようになる。したがって、豊岡市の経済に連動し、豊岡市の環境にプラスになるような行動で、しかも豊岡市民固有の行動とはいったい何なのか、この点について考える必要があると思われる。

最後の【問 20】は「環境経済への共感」を尋ねていると思われる。しかし、一般市民にとって、この質問は難易度が高いと思われる。確かに、この【問 20】は「わからない」と回答した市民は年々上昇し、今年度は 4 割を超えている。その理由について当課は、「環境を良くする取組み」の内容が十分に理解されていない、あるいは、十分に知られていないためと推測する。また、「環境を良くする取組み」と経済との関係、つまり「環境経済」について多くの市民はまだ知っていないし、それについて考える機会も少ないのではないだろうか。さらに、先の議論と同様になるが、質問者が想定している「取組み」の内容について議論する必要もあるだろう。つまり、豊岡の環境をよくする取組みが豊岡の経済を向上させ、それにより一層豊岡の環境がよくなるという循環、このことについて、豊岡固有の具体例を挙げ、市民に明確に示す必要があると思われる。

「豊岡エコバレー」という範囲の広い分野を 1 つの戦略体系図で表現しているため、戦略体系図も調査票の質問項目も抽象的になっているのではないだろうか。モニタリング調査を有意義なものにして、戦略体系図の改善に生かすためには、施策担当課で戦略体系図について考察を行っていただき、戦略目的や手段の具体化について考える必要があると思われる。

2.5 「おもてなし観光のまち」

【単年度分析】

- ・多くの市民が観光地としての発展を願っている。
- ・豊岡市の魅力的な観光資源として、最も多くの支持を集めたのは、城崎温泉・城下町出石・コウノトリであった。
- ・「現在観光ボランティアに関わっている」市民は4.5%、「機会があれば関わりたい」と考えている市民は13.8%と少数である。

【経年分析】

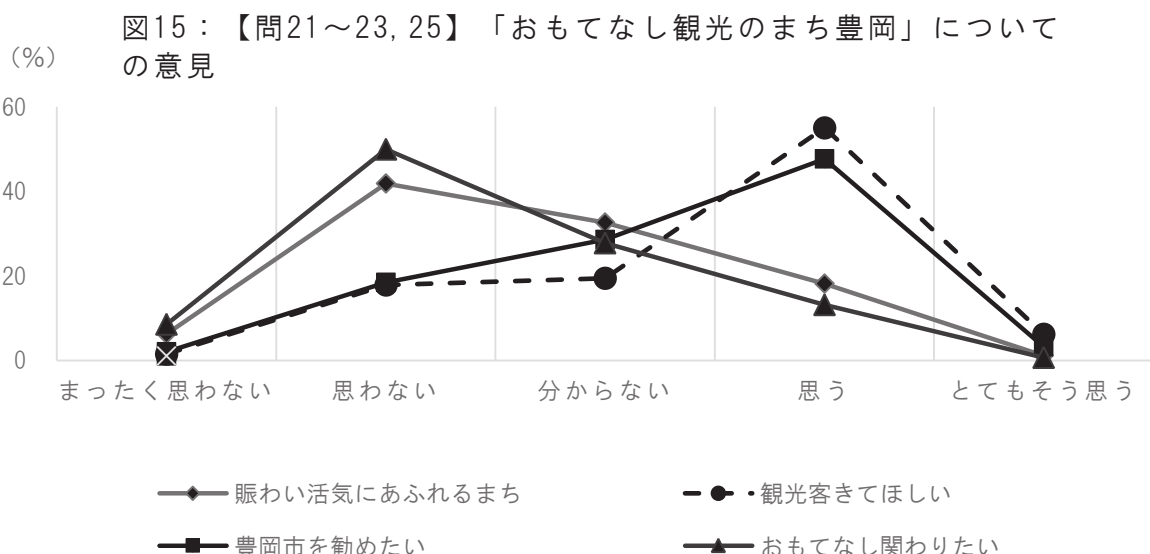
- ・「もっと観光客が来てほしいか」、「市外の人に観光地として勧めたいか」については、昨年度と比較して統計的に有意な減少が見られた。

【改善の論点】

- ・「もっと観光客が来てほしいか」、「市外の人に観光地として勧めたいか」が減少した原因について多様な関係者との議論が必要であろう。
- ・魅力的な観光資源の質問を戦略体系図の改善に必要な質問へと変更してはどうか。

「観光地としての豊岡」についての市民の意識等を調査した結果、【図15】のような傾向が見られた。現在の豊岡について、「観光客の集まる活気にあふれたまちと思うか」という問いに対しては、「思わない」という否定的な意見が目立っている。反対に、「もっと観光客が来てほしいか」、「市外の人に観光地として勧めたいか」という問いに対しては「思う」という意見が目立っている。これらは昨年度と同じ傾向であり、豊岡が今以上に観光地として賑わう余地を感じており、観光に対する期待は大きいと言える。

しかし、「もっと観光客が来てほしいか」、「市外の人に観光地として勧めたいか」については、昨年度と比較して統計的に有意な減少が見られた。 $(t=-2.2, p<0.05, t=-3.0, p<0.01)$ 。この2つの質問については、例年相関が見られる $(r=0.4\sim 0.41, p<0.01)$ ため、互いに関係のある質問であることが分かる。旧市町エリアでみた場合「市外の人に観光地として勧めたいか」については日高地域が統計的に有意に減少 $(t=-2.04, p<0.05)$ していることが分かった。このことから、特に日高地域の状況について関係者と議論が必要だと思われる。



現在、仕事あるいはボランティアとして観光客への「おもてなし」活動に関わっていると回答した市民は4.5%であり、昨年度の5.1%から若干減少した【図16】。

また、現在「おもてなし」活動に関わっていないと回答した市民のうち、機会があれば関わってみたい（思う・とてもそう思う）と答えた市民は13.8%と低い結果であった【図17】。観光地として発展することに対する市民の期待は大きいですが、積極的に「おもてなし」に関わるという意識までは育てていないことがうかがえる。

「おもてなしに関わっている」という回答の割合が高かったのは、城崎地域（9.8%）、竹野地域（8.9%）であった。また、「機会があればおもてなしに関わりたい」と考えている市民は、出石地域が15.4%、日高地域が14.2%、豊岡地域が14.0%となっている。

これらの結果に加えて、「おもてなし活動」が抽象的な言葉であるため、回答者の言葉の理解に違いがあることも考えられる。回答者が想定している「おもてなし活動」の内容は多岐にわたるものであろう。継続的な活動、一回限りの行動、時間的に長い活動、一瞬で終わる行為など様々に考えられる。「おもてなし活動」の具体的な活動内容について関係者との議論につなげてほしい。同時に、既の実現している「おもてなし活動」があれば、それを積極的に紹介することが市民の「おもてなし活動」への理解を深めることにつながると思われる。

図16：【問24】現在「おもてなし」に関わっているか

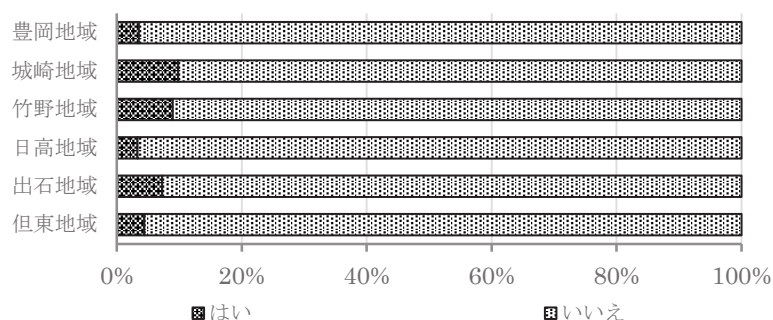
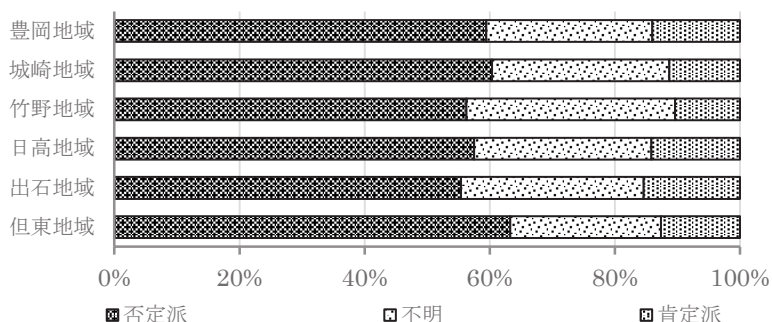
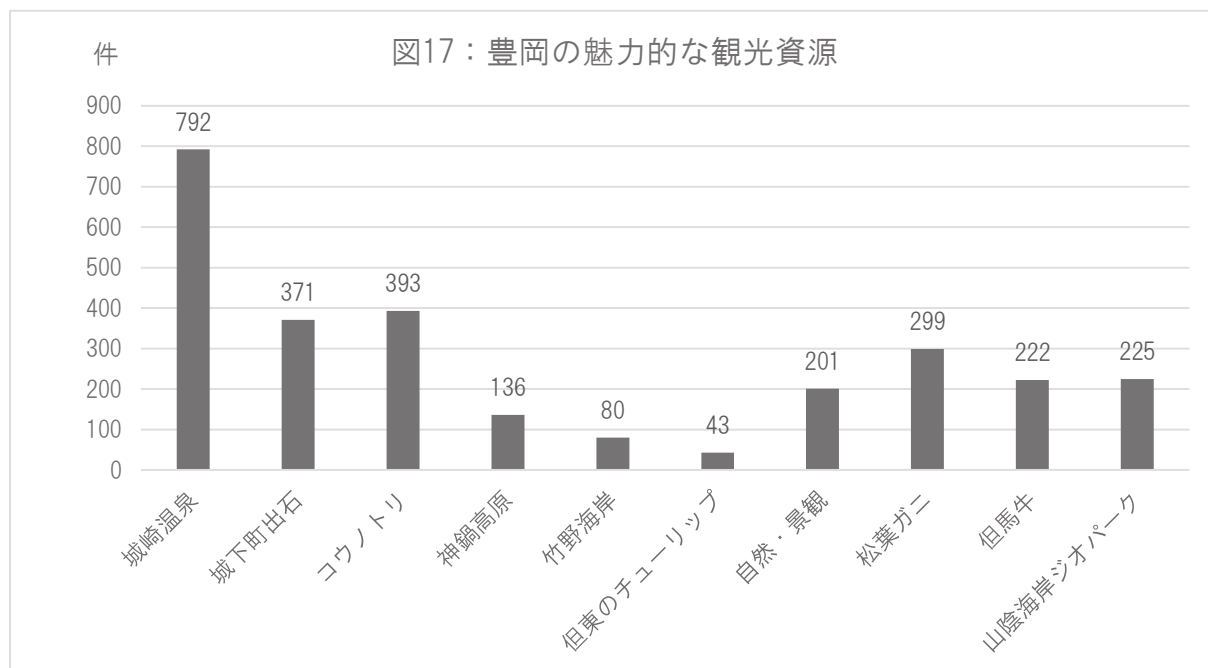


図17：【問25】機会があれば「おもてなし」に関わりたいか



豊岡市の魅力的な観光資源に関しては【図 18】、「城崎温泉」、「コウノトリ」、「城下町出石」が昨年度までと同様に多くの支持を集め、市民にとって中心的な観光地であるとの認識がなされていることが伺える。また、自分の住居地域を選択する傾向も例年みられる。この結果はモニタリング調査を開始してから固定している。加えて、今後もこの傾向に大きな変化はないと思われる。したがって、モニタリング調査を有効に活用するために回答の変化をみることができ、改善に活用できる質問に変更することを検討すべきだと思われる。



2.6 「交通の便利なまち」

【単年度分析】

・市民の多くは、豊岡市の公共交通は便利ではないという意識を持っている。

【経年分析】

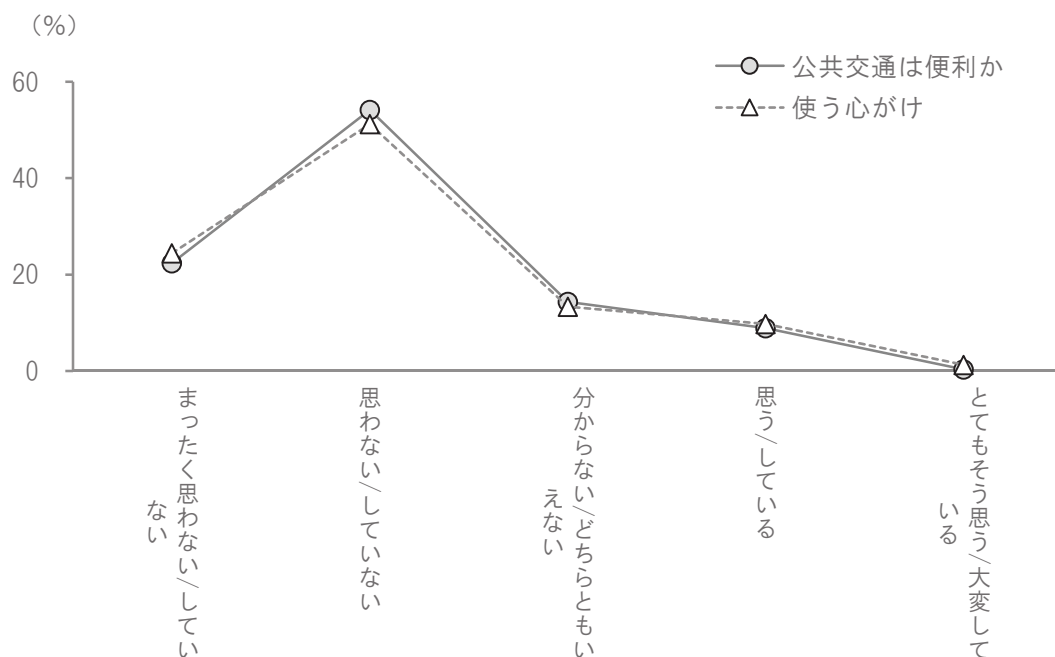
・公共交通機関を使う心がけは統計的に有意に増加した。

【改善の論点】

- ・小学校区別で見たとき色々な特徴がみられそうである。他のデータを用いるなどして小学校区別の特徴について考察を深める必要がある。
- ・戦略体系図の改善につながる質問項目について検討する必要があるのではないか。

豊岡市の公共交通が便利だと感じている市民は9.2%であった【図19】。また、公共交通を使うよう心がけていると答えた市民は11.0%であり統計的に有意に増加した（ $t=2.6$ 、 $p<0.01$ ）。便利だと感じている市民は例年同様に少ないが、心がけには改善がみられる。

図19：【問27, 28】公共交通の利用について

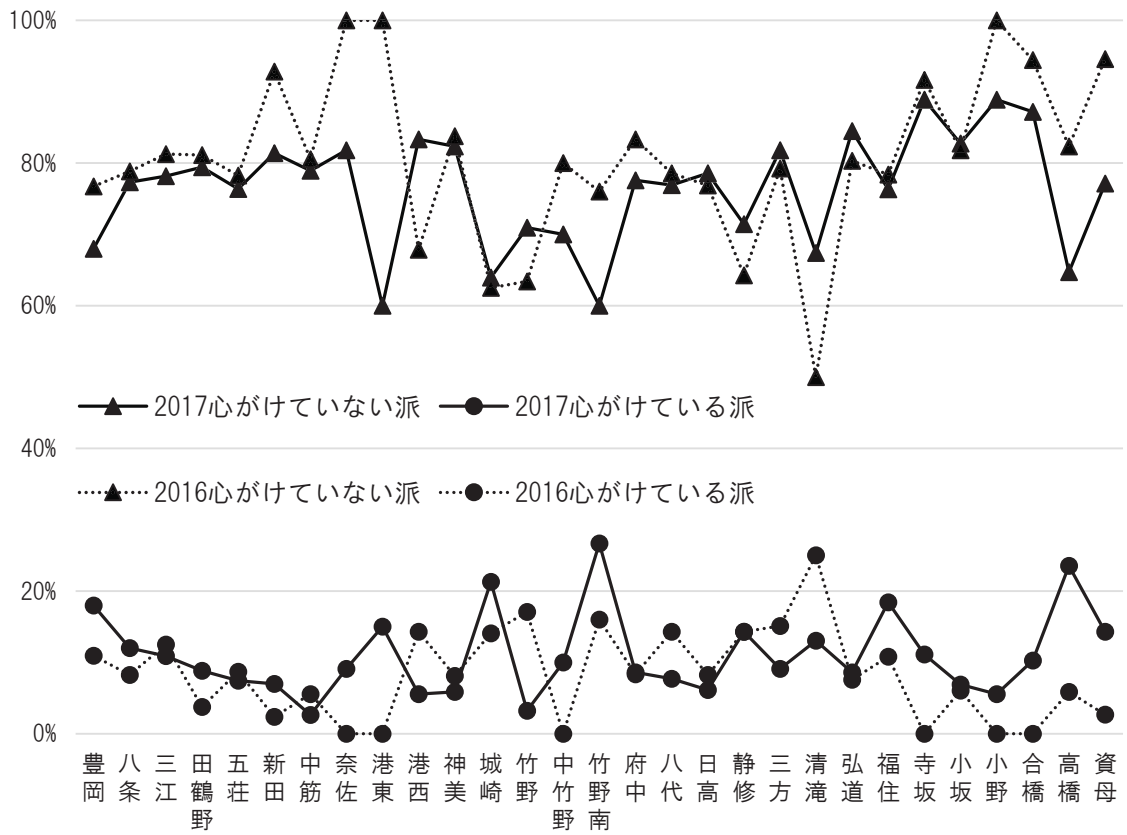


また、公共交通機関を便利だと思うことと利用意識は正に有意な相関がある（ $r=0.24$ 、 $p<0.01$ ）。このことから、公共交通機関を意識して利用している人は、公共交通機関を便利だと思うことが多い、と考えられるかもしれない。つまり、実際に乗ってみると、意外に便利だったという意識の表れと考えることもできる。そうであれば、「乗りはじめ」や「乗るきっかけ」の重要性が示唆されていると考えられる。もちろん、これは当課の推論であり、本調査ではその実態を把握することはできないが、他の行政データや現場での実感、あるいは関係者との議論の中で考察する材料になると思われる。

以下の分析では、施策担当課から依頼があった小学校区別の傾向を中心にみていくこととする。ただし、小学校区別で考える場合は、サンプル数が少ない小学校区が多いため、市民の意識を正確に反映しているとは言えない点には注意が必要である。

まず、利用の心がけであるが、昨年度と比較して出石や但東地域の小学校区で心がけている割合は増加している【図20】。一方、日高地域は減少している。

図20：小学校区別の利用心がけ



公共交通機関を利用する目的をみると、全体としては「娯楽」が最も多く 39.0%である。地域別に見た場合には割合に差があるように見える【表 14】。

表14：公共交通機関を利用する目的

	通勤・通学	通院	銀行・郵便局等の用事	日常的買い物	娯楽	業務・仕事	その他
豊岡	7.1%	29.2%	0.9%	6.2%	31.0%	18.6%	7.1%
八条	8.5%	11.9%	1.7%	13.6%	35.6%	15.3%	13.6%
三江	15.8%	13.2%	0.0%	10.5%	28.9%	18.4%	13.2%
田鶴野	0.0%	18.2%	4.5%	0.0%	50.0%	22.7%	4.5%
五荘	4.0%	15.3%	1.6%	4.0%	48.4%	18.5%	8.1%
新田	6.1%	18.2%	6.1%	3.0%	33.3%	18.2%	15.2%
中筋	3.8%	15.4%	0.0%	0.0%	50.0%	30.8%	0.0%
奈佐	11.1%	11.1%	5.6%	22.2%	27.8%	16.7%	5.6%
港東	5.9%	23.5%	0.0%	11.8%	35.3%	5.9%	17.6%
港西	7.7%	30.8%	0.0%	7.7%	38.5%	7.7%	7.7%
神美	7.1%	17.9%	0.0%	21.4%	42.9%	7.1%	3.6%
城崎	10.0%	22.0%	2.0%	10.0%	30.0%	16.0%	10.0%
竹野	0.0%	0.0%	0.0%	10.0%	40.0%	30.0%	20.0%
中竹野	0.0%	33.3%	0.0%	11.1%	33.3%	11.1%	11.1%
竹野南	0.0%	25.0%	0.0%	16.7%	16.7%	8.3%	33.3%
府中	10.6%	17.0%	2.1%	6.4%	40.4%	17.0%	6.4%
八代	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	81.8%	9.1%	9.1%
日高	4.3%	15.9%	1.4%	4.3%	58.0%	11.6%	4.3%
静修	10.0%	10.0%	0.0%	20.0%	40.0%	10.0%	10.0%
三方	4.3%	17.4%	0.0%	4.3%	43.5%	30.4%	0.0%
清滝	6.5%	16.1%	0.0%	9.7%	54.8%	6.5%	6.5%
弘道	11.6%	23.3%	4.7%	2.3%	34.9%	16.3%	7.0%
福住	6.5%	25.8%	0.0%	6.5%	32.3%	16.1%	12.9%
寺坂	16.7%	33.3%	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%	16.7%
小坂	8.0%	16.0%	4.0%	4.0%	52.0%	8.0%	8.0%
小野	7.1%	14.3%	0.0%	14.3%	28.6%	21.4%	14.3%
合橋	8.0%	36.0%	4.0%	4.0%	28.0%	4.0%	16.0%
高橋	21.4%	35.7%	7.1%	14.3%	0.0%	21.4%	0.0%
資母	5.6%	44.4%	0.0%	16.7%	11.1%	11.1%	11.1%
市全域	7.1%	19.7%	1.7%	7.6%	39.0%	16.0%	9.0%

※網掛けは上位3位

※端数処理により「3 参考データ」と整合しない

次に、市民が必要としている公共交通機関について、1位から3位までを同等に扱い以下の表を作成した【表15】。全体としてはバスが必要と考える市民が多く、次いで鉄道を支持する声が多い。これは例年どおりの傾向である。しかし、各小学校区別でみた場合はJR沿線とそれ以外では明らかに差があるように思われる。

表15：小学校区と必要な公共交通

	バス	特急バス	タクシー	乗合タクシー	鉄道	飛行機	その他
豊岡	28.3%	13.4%	11.6%	11.1%	26.7%	7.5%	1.5%
八条	31.7%	11.3%	16.1%	12.4%	24.7%	3.8%	0.0%
三江	34.3%	7.9%	17.1%	17.9%	17.1%	3.6%	2.1%
田鶴野	32.5%	10.4%	15.6%	15.6%	20.8%	3.9%	1.3%
五荘	28.9%	9.5%	15.9%	13.4%	21.9%	8.2%	2.2%
新田	29.3%	12.9%	9.5%	17.2%	21.6%	6.9%	2.6%
中筋	34.1%	8.8%	17.6%	24.2%	11.0%	2.2%	2.2%
奈佐	32.7%	3.6%	12.7%	21.8%	20.0%	5.5%	3.6%
港東	36.7%	4.1%	18.4%	22.4%	18.4%	0.0%	0.0%
港西	35.0%	10.0%	15.0%	17.5%	20.0%	0.0%	2.5%
神美	32.6%	9.5%	14.7%	20.0%	16.8%	6.3%	0.0%
城崎	30.7%	11.7%	14.7%	10.4%	27.6%	4.3%	0.6%
竹野	31.9%	4.3%	18.8%	11.6%	30.4%	2.9%	0.0%
中竹野	32.0%	0.0%	20.0%	12.0%	24.0%	8.0%	4.0%
竹野南	34.2%	7.9%	18.4%	23.7%	15.8%	0.0%	0.0%
府中	31.0%	11.0%	13.5%	14.2%	23.9%	5.8%	0.6%
八代	33.3%	0.0%	22.2%	33.3%	8.3%	0.0%	2.8%
日高	28.3%	8.8%	19.1%	15.1%	23.9%	4.0%	0.8%
静修	35.3%	8.8%	17.6%	17.6%	20.6%	0.0%	0.0%
三方	32.4%	7.8%	18.6%	22.5%	13.7%	2.9%	2.0%
清滝	33.3%	8.3%	19.2%	22.5%	12.5%	2.5%	1.7%
弘道	29.5%	12.8%	14.8%	22.8%	17.4%	2.0%	0.7%
福住	25.5%	15.7%	18.6%	15.7%	18.6%	2.9%	2.9%
寺坂	31.3%	12.5%	18.8%	12.5%	25.0%	0.0%	0.0%
小坂	30.8%	3.8%	19.2%	19.2%	20.5%	5.1%	1.3%
小野	29.5%	15.9%	13.6%	15.9%	20.5%	0.0%	4.5%
合橋	28.0%	8.6%	20.4%	23.7%	14.0%	0.0%	5.4%
高橋	33.3%	2.6%	25.6%	20.5%	12.8%	0.0%	5.1%
資母	34.3%	4.5%	26.9%	22.4%	9.0%	0.0%	3.0%
市全域	30.6%	9.7%	16.3%	16.5%	20.8%	4.4%	1.6%

※網掛けは上位3位

大阪・神戸方面と東京方面に出かけるときに利用する交通手段についても、小学校区別に整理した【表 16】。全体では多くの人が自動車を利用している（56.4%）。地域別にも差がみられるが、議論を行う際には、過去の状況との変化をみる必要もあるのかもしれない。

表16：大阪・神戸方面への移動手段

	鉄道	バス	自動車	飛行機	その他	大阪・神戸方面 に出かけること が無い
豊岡	36.5%	2.0%	53.4%	0.0%	0.0%	8.1%
八条	31.0%	12.7%	54.9%	0.0%	0.0%	1.4%
三江	31.4%	5.9%	52.9%	0.0%	0.0%	9.8%
田鶴野	29.4%	8.8%	58.8%	0.0%	0.0%	2.9%
五荘	34.0%	1.9%	57.7%	0.6%	0.6%	5.1%
新田	22.7%	11.4%	63.6%	0.0%	0.0%	2.3%
中筋	16.7%	5.6%	69.4%	0.0%	2.8%	5.6%
奈佐	40.9%	4.5%	40.9%	4.5%	0.0%	9.1%
港東	19.0%	23.8%	52.4%	0.0%	0.0%	4.8%
港西	33.3%	13.3%	53.3%	0.0%	0.0%	0.0%
神美	20.6%	5.9%	67.6%	0.0%	0.0%	5.9%
城崎	35.6%	11.9%	45.8%	0.0%	0.0%	6.8%
竹野	26.7%	0.0%	66.7%	0.0%	0.0%	6.7%
中竹野	45.5%	0.0%	54.5%	0.0%	0.0%	0.0%
竹野南	58.3%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	8.3%
府中	25.5%	3.6%	60.0%	0.0%	0.0%	10.9%
八代	50.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%
日高	30.2%	6.3%	61.5%	0.0%	0.0%	2.1%
静修	14.3%	14.3%	50.0%	0.0%	7.1%	14.3%
三方	34.9%	4.7%	53.5%	0.0%	0.0%	7.0%
清滝	22.2%	8.9%	57.8%	2.2%	0.0%	8.9%
弘道	24.6%	5.3%	61.4%	0.0%	1.8%	7.0%
福住	41.0%	10.3%	43.6%	0.0%	2.6%	2.6%
寺坂	28.6%	0.0%	42.9%	0.0%	0.0%	28.6%
小坂	33.3%	0.0%	53.3%	3.3%	0.0%	10.0%
小野	18.8%	6.3%	68.8%	0.0%	0.0%	6.3%
合橋	25.0%	2.8%	66.7%	0.0%	0.0%	5.6%
高橋	31.3%	6.3%	43.8%	0.0%	0.0%	18.8%
資母	20.6%	14.7%	55.9%	0.0%	0.0%	8.8%
市全域	30.5%	6.1%	56.4%	0.3%	0.4%	6.3%

※網掛けは上位3位

※端数処理により「3 参考データ」と整合しない

東京方面への移動手段についてみると、鉄道が多い（44.0%）ことが分かる【表17】。また、「東京方面にでかけることが無い」と回答した市民も多い（39.2%）のが現状である。飛行機と回答した市民は10.2%であった。

表17：東京方面への移動手段

	鉄道	バス	自動車	飛行機	その他	東京方面に出かけることが無い
豊岡	49.0%	0.7%	4.1%	11.7%	0.0%	34.5%
八条	42.0%	0.0%	4.3%	13.0%	1.4%	39.1%
三江	44.0%	0.0%	6.0%	6.0%	0.0%	44.0%
田鶴野	35.3%	2.9%	14.7%	8.8%	0.0%	38.2%
五荘	41.3%	0.6%	5.8%	11.6%	0.6%	40.0%
新田	47.7%	0.0%	6.8%	13.6%	0.0%	31.8%
中筋	40.0%	0.0%	8.6%	11.4%	0.0%	40.0%
奈佐	50.0%	0.0%	0.0%	22.7%	0.0%	27.3%
港東	40.0%	5.0%	0.0%	0.0%	0.0%	55.0%
港西	53.3%	6.7%	0.0%	13.3%	0.0%	26.7%
神美	47.1%	2.9%	5.9%	0.0%	0.0%	44.1%
城崎	45.6%	1.8%	1.8%	14.0%	0.0%	36.8%
竹野	43.3%	3.3%	6.7%	6.7%	0.0%	40.0%
中竹野	63.6%	0.0%	27.3%	0.0%	0.0%	9.1%
竹野南	58.3%	0.0%	8.3%	8.3%	0.0%	25.0%
府中	41.8%	0.0%	9.1%	7.3%	0.0%	41.8%
八代	41.7%	0.0%	0.0%	16.7%	0.0%	41.7%
日高	50.5%	0.0%	5.3%	11.6%	0.0%	32.6%
静修	21.4%	0.0%	0.0%	7.1%	7.1%	64.3%
三方	50.0%	2.4%	7.1%	7.1%	0.0%	33.3%
清滝	36.4%	0.0%	4.5%	6.8%	0.0%	52.3%
弘道	43.9%	0.0%	5.3%	8.8%	0.0%	42.1%
福住	48.7%	2.6%	0.0%	10.3%	0.0%	38.5%
寺坂	57.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	42.9%
小坂	46.7%	0.0%	0.0%	13.3%	0.0%	40.0%
小野	25.0%	0.0%	12.5%	25.0%	0.0%	37.5%
合橋	31.4%	0.0%	2.9%	5.7%	0.0%	60.0%
高橋	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%
資母	30.3%	3.0%	18.2%	12.1%	0.0%	36.4%
市全域	44.0%	0.9%	5.5%	10.2%	0.2%	39.2%

※網掛けは上位3位

※端数処理により「3 参考データ」と整合しない

本市は持続可能な公共交通の推進を目指した戦略体系図を作成している。その戦略体系図を見ると、モニタリング調査によって市民の意識を計測できる部分は多い。二桁手段はもちろん、一桁手段も具体的な項目が多いため、重要だと思われる手段に対して質問を作成し、市民の意識を計測することが可能である。したがって、市民協働ワークショップで戦略体系図を改善していくための議論を行う際に、モニタリング調査の質問内容も合わせて検討してもよいのではないかと。実際に調査項目として採用するかどうかは別として、いくつか質問候補を上げておくことは今後のために重要だと思われる。

2.7 「子育てに優しいまち」

【単年度分析】

・豊岡市は子育てに優しいまちだと感じている市民と、感じていない市民は共に 25% 弱で拮抗している。

【経年分析】

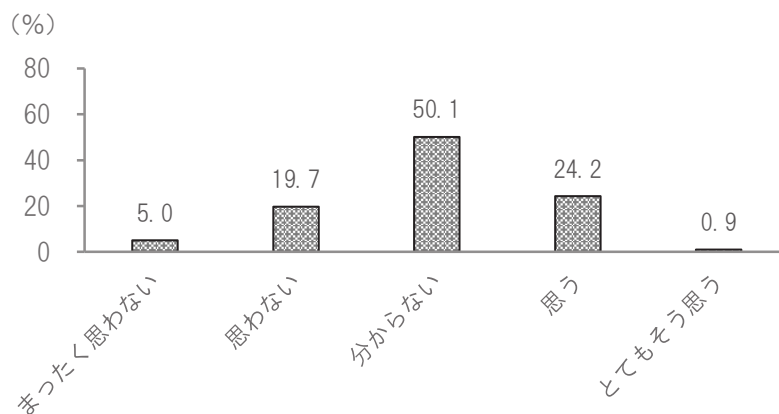
・子育て世帯の住みやすさの改善はみられない。

【改善の論点】

・「豊岡市ファミリーサポートセンター」の本格運用に際して様々な課題が発生するだろう。課題の克服に向けて、本調査や他のデータ等を利用し多様な関係者との議論を行っていただきたい。

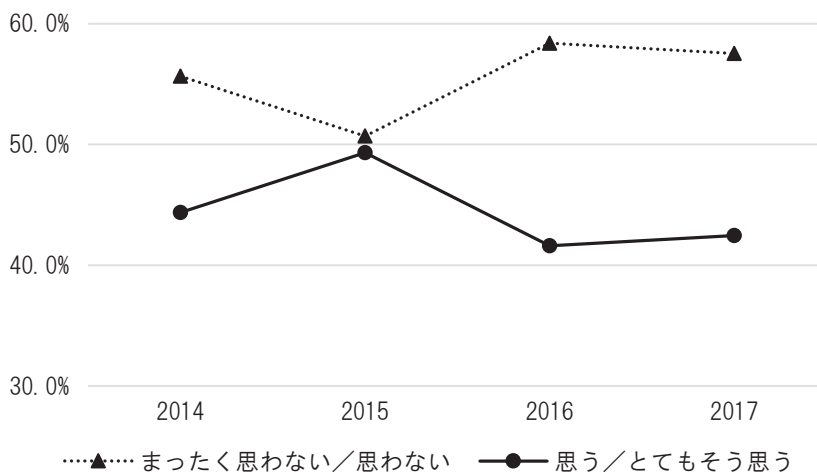
豊岡は子育て世帯が住みやすい（思う・とてもそう思う）と感じている市民は 25.1% である【図 21】。例年、肯定的回答と否定的回答は拮抗しており、本年度もその傾向と同じである。

図21：【問32】豊岡は子育て世帯が住みやすいまちか

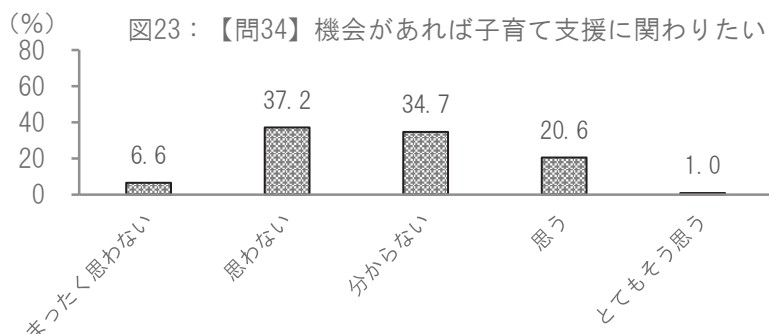


次に、小学生以下の子どもがいる世帯でみたものを年度別に比較した【図 22】。サンプル数が少ないため注意が必要であるが、これを見る限りでは子育て世代の意識が改善されているとは考えにくい。

図22：子育て世帯の住みやすさ意識の推移



現在、仕事やボランティアで子育て支援に関わっていると回答した市民は 11.9%であり、昨年度 12.5%から若干減少した【問 33】。また、現在子育て支援に関わっていないと回答した市民のうち、機会があれば関わってみたい（思う・とてもそう思う）と答えた市民は 21.6%であった【図 23】。



今年度、豊岡市の子育て環境の向上を目指して、「豊岡市ファミリーサポートセンター」が開始された。これは、戦略体系図では手段 0202 及び 0203 に資する事業である。今後、運用が開始される中で市民意識を見極め、「豊岡市ファミリーサポートセンター」をよりよい事業にする必要がある。そこで、「まかせて会員」の確保の課題に対して、分析課として以下のとおり分析と考察を行った。

まず、「関わってみようと思う」と回答した人の性別と年齢のクロス表を作成した【表 18】ところ、絶対数において 60 代が多いことがわかる。このことから、「まかせて会員」のターゲットは 60 代であることが分かる。加えて、60 代の男性においても一定数の希望者があることに留意する必要があるだろう。

表 18：関わってみようと思う市民の性別と年齢のクロス表

	年齢								合計
	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	
男性	1	2	6	8	13	31	8	9	78
	1.3%	2.6%	7.7%	10.3%	16.7%	39.7%	10.3%	11.5%	100.0%
女性	4	11	15	21	16	45	19	12	143
	2.8%	7.7%	10.5%	14.7%	11.2%	31.5%	13.3%	8.4%	100.0%
計	5	13	21	29	29	76	27	21	221
	2.3%	5.9%	9.5%	13.1%	13.1%	34.4%	12.2%	9.5%	100.0%

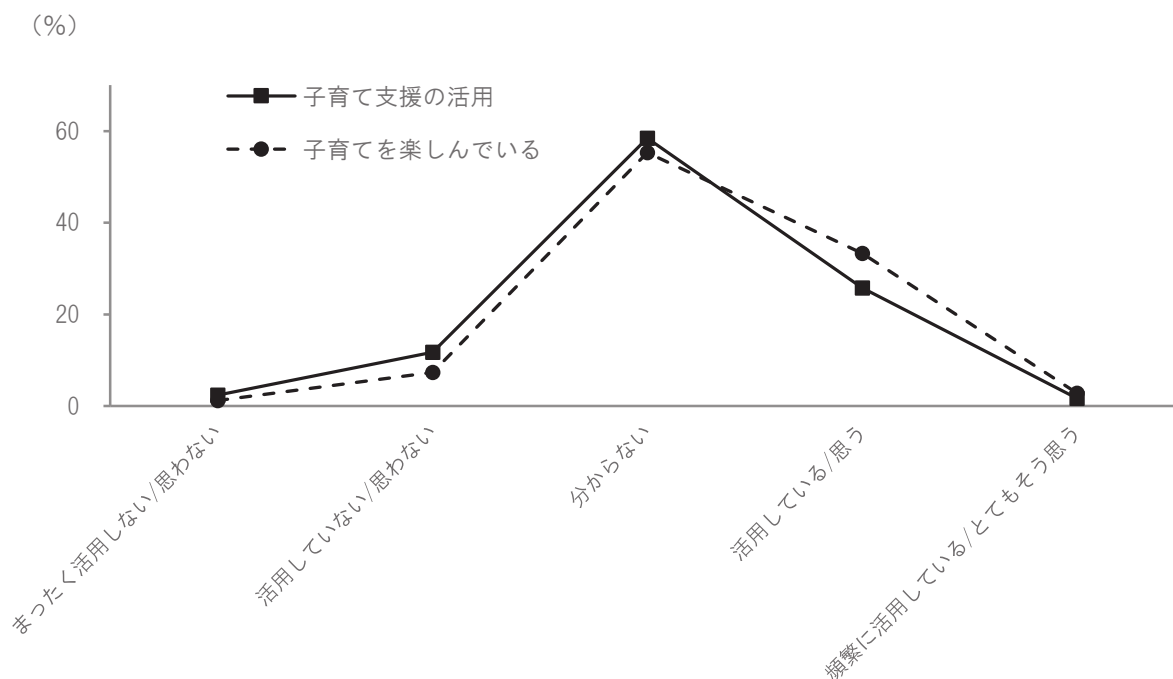
次に、「関わってみようと思う」と回答した人の地域別のクロス表を作成した【表 19】。絶対数において、市街地に集中しているが、「おねがい会員」の勤務地との関係等もあるため、実際のマッチングには個別の状況を考慮する必要があるだろう。

表 19：関わってみようと思う市民の性別と地域別のクロス表

	旧市町						合計
	豊岡地域	城崎地域	竹野地域	日高地域	出石地域	但東地域	
男性	39	3	7	13	9	5	72
	50.0%	4.2%	9.7%	18.1%	12.5%	5.6%	100.0%
女性	75	4	5	30	20	1	138
	52.9%	2.9%	3.6%	19.6%	14.5%	6.5%	100.0%
合計	109	7	12	40	29	13	210
	51.9%	3.3%	5.7%	19.0%	13.8%	6.2%	100.0%

次に、市の子育てサービスの活用状況【問 35】と市民の育児満足度【問 36】を見てみると【図 24】、サービスを活用している市民は 27.5%、育児を楽しんでいる市民は 36.1%であった。また、この両者は正に有意な相関関係があり ($r=0.3$, $P<0.01$)、両者は関係が深いことが認められる。「豊岡市ファミリーサポートセンター」の利用により育児の楽しさを実感する家族が増えることを期待したい。

図24：【問35, 36】市民の子育て環境



本市は人口減少対策からも子育て支援を重視しており、戦略目的である「子育て環境の充実」は極めて重要である。また、上位目的「子育ての不安が軽減されている」という意識は、子育て世帯はもちろん、かつての子育て世帯や子育て世帯に関係している個人の意識も含まれる幅広い範囲の市民の意識である。そのため、戦略体系図「子育て環境の充実」は多くの手段を様々な角度から講じて目的を達成するように作成されている。その中でモニタリング調査は、一部の市民意識しか計測することができない。手段に対応した質問項目にすることも重要であるが、他の調査や行政データ、現場の実感や多様な関係者の意見などと合わせて、戦略体系図の改善を行う必要がある。

今後、「豊岡市ファミリーサポートセンター」の本格運用に向けた動きが加速すると思われる。限られた人員で効果的に目的を達成するために、戦略体系図と本調査結果を活用していただきたい。その際、本調査の他にも分析すべきデータ等があれば当課も協力して分析を行い、プロセス評価に寄与したいと考えている。

2.8 「エコ農業のまち」

【単年度分析】

- ・半数以上の市民が無農薬・減農薬の食材に関心を持っている。
- ・「コウノトリの舞」の知名度は高く、女性の関心が特に高い。

【経年分析】

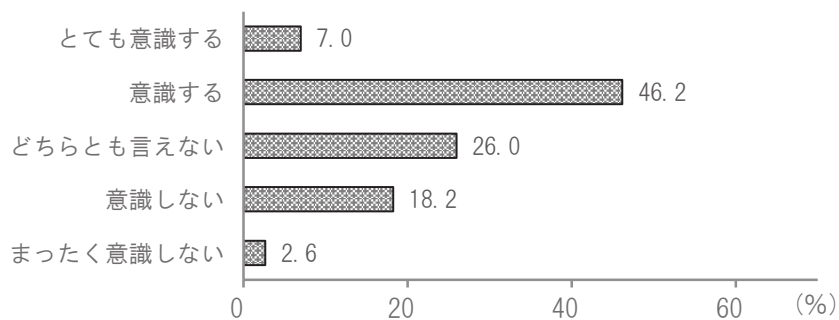
- ・「コウノトリの舞」の知名度は微減しているが、統計的に有意な減少ではない。

【改善の論点】

- ・この戦略体系図にとって、豊岡市民が自らの農産物を評価することの意味はあるのだろうか。
- ・豊岡市民が豊岡ブランド農産物を評価していることを質問するためには、どのような質問をすればよいだろうか。

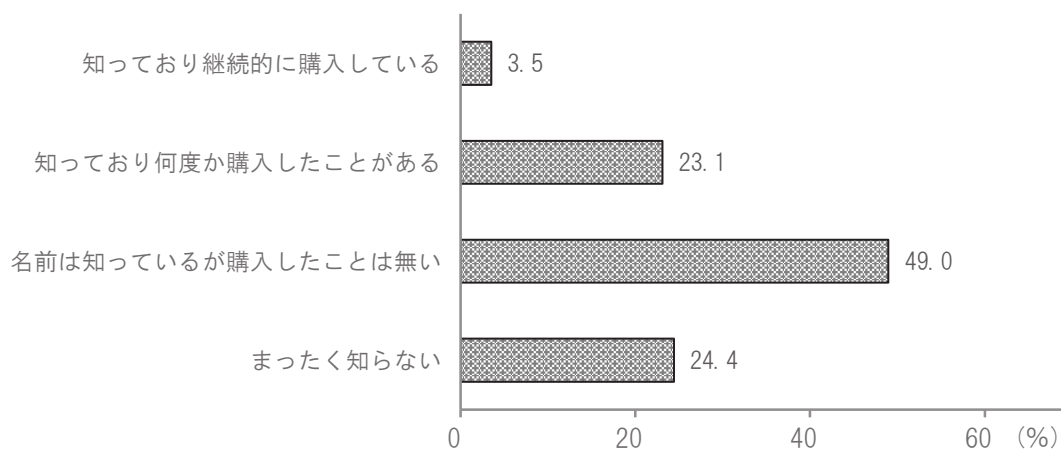
食品や食材の農薬使用に対する市民の意識は高く、約53.2%の市民が無農薬・減農薬であるかどうかを意識すると回答している。これは、昨年度とほぼ同率（約56.2%）であった【図25】。

図25：【問37】食品・食材の無農薬・減農薬を意識するか



「コウノトリの舞」の知名度は高く、「知っている」と答えた市民は75.6%であり、昨年度の79%からは微減しているものの、統計的には有意な減少ではない【図26】。

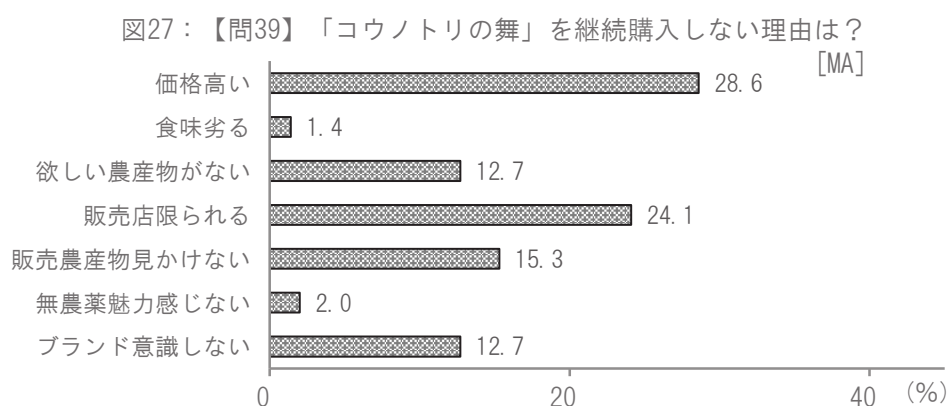
図26：【問38】「コウノトリの舞」を知っているか



「農薬使用に対する意識」と「コウノトリの舞の知名度」に関して、男女のグループ別に回答をt検定で比較した結果、それぞれ、女性の方が統計的に有意に高いことが示された（ $t=5.6$ 、 $p<0.01$ ； $t=5.3$ 、 $p<0.01$ ）。また、「農薬使用に対する意識」と「コウノトリの舞の知名度」に関して正の相関がみられる（ $r=0.28$ 、 $p<0.01$ ）ことから、「農薬使用に対する意識」が高い市民ほど、コウノトリの舞を知っており購入していることもうかがえる。

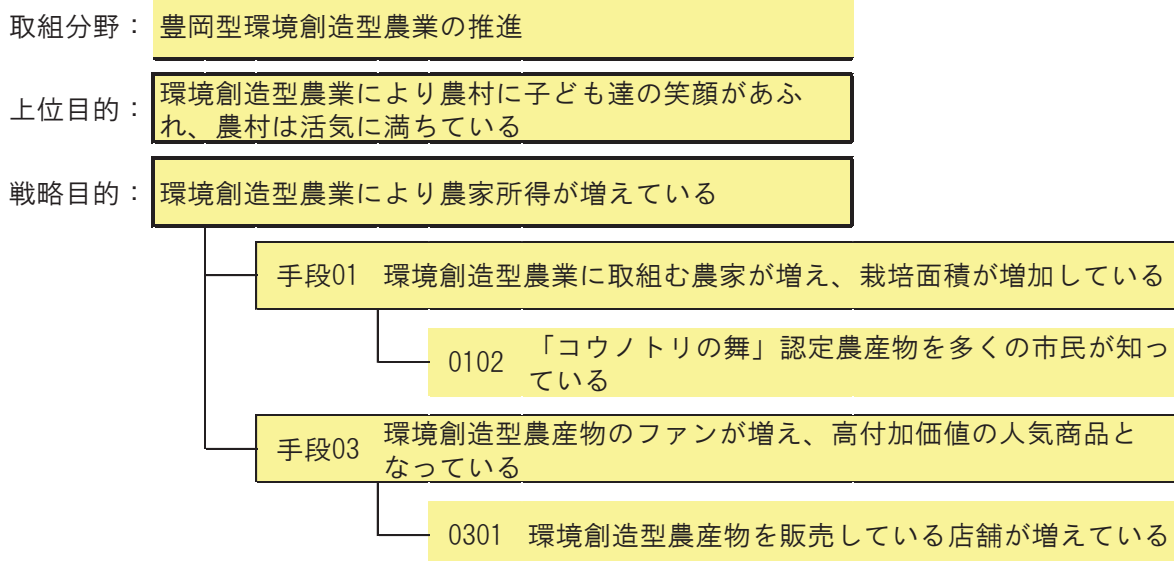
【問39】で継続的な購入に至らない理由を尋ねたところ、次図の結果が得られた【図27】。選択された割合が最も高かったのは「価格が高い」28.6%であり、以降は「取扱店が限られる」、「販売農産物を見かけない」、「欲しい農産物がない」、「ブランドは意識しない」の順となっている。

「無農薬に魅力を感じない」の回答が2.0%と僅少であることと、【問37】の回答で「無農薬・減農薬かを意識する・とても意識する」が約53.2%であったことを併せて考えると、何れかの阻害要因を緩和させることが継続購入者を増加させると言えるのではないか。



「豊岡型環境創造型農業の推進」の戦略体系図の戦略目的は、「環境創造型農業により農家所得が増えている」である【図28】。これは、農家への聞き取りや行政データ等で具体的金額として計測することが可能である。また、手段03以外の1桁手段も本モニタリング調査で計測できる項目はないと思われる。本モニタリング調査で計測しているのは、手段0102、手段0301である。

図28：「豊岡型環境創造型農業の推進」の戦略体系図



現在、豊岡ブランドの農産物のマーケットは国内はもとより海外へと広がっており、世界各地にファンを獲得しつつある。このような中で、豊岡市の市民の意識はどのような位置づけになるのか。豊岡市の市民に売り込むわけではないので、豊岡市の市民の豊岡ブランド農作物に対する意識は重要ではない、と考えることもできる。しかし一方、売上げの向上には、豊岡市の市民の協力や評価も重要だという意見もあるだろう。あるいは、売上げとは別の意味で市民の自らの農産物への評価が必要なのだろうか。

当課の考察を以下に示す。豊岡ブランドの農作物が日本や世界各地で評価され、高価格で販売されているということは、豊岡市の農作物に付加価値を認める人が存在し、そこに豊岡市の農産物の良さが伝達されているということであろう。したがって、そこに付加されている価値を認めない人や良さを知らない人にとっては、その農産物の価格は高すぎると判断されるはずである。そうだとすれば、モニタリング調査の結果からみると、現在の豊岡市の市民は、まだ自らの農産物の価値が分からない、あるいは価値を認めていないと言えるのではないか。したがって、価値が分からないのであれば分かってもらう必要があるだろうし、価値を認められないのであればその理由の解明が必要となってくると思われる。

もちろん、一般的に収入とブランド農産物購入行動には関係があるだろう。また、豊岡市の市民は家族や親族が農作物を作っており、低価格で減農薬の農産物が手に入る環境にあるということも大きいだろう。この戦略体系図にとって、市民の自らの農作物に対する評価が重要であるならば、実際の購買行動を問う質問とは別の仕方で、市民の評価を問う必要があるように思われる。

2.9 「住みたいと思うまち」

【単年度分析】

・親の視点から見た子のUターンに関する障害は就職先である。

【経年分析】

・豊岡で暮らすことに価値や魅力を感じていると回答した市民は統計的に有意に減少した。

・市外出身の若者が増えることに関しての市民の抵抗感は低く、地域活性化のために若者の増加に期待を持っている。

【改善の論点】

・問42の理由を選択式にしてはどうだろうか。

・問40を地域別でみた場合、但東地域が2年連続で低いように思われる。何か理由があるのだろうか。

豊岡で暮らすことに価値や魅力を感じていると回答した市民は、42.0%であり、昨年度の46.4%から統計的に有意に減少した ($t=-2.4$, $p<0.05$)【図29】。地域ごとの傾向を測るため、地域ごとに再集計したところ、「思う・とてもそう思う」肯定派の割合が最も高いのは竹野(53.8%)であり唯一5割を超えていた。逆に「思わない・全く思わない」否定派の割合が高いのは、但東(36%)・出石(30%)であった【図30】。但東地域は昨年度も否定派が最も多かった地域である(28%)。出石地域も昨年と比べ否定派が増加している(18.9%)。何か理由があるのだろうか。

また、年齢と価値や魅力を感じていることには正に有意な相関がみられた ($r=0.1$, $p<0.01$)。年齢が高い人ほど、豊岡市の魅力を感じていると言えそうである。

図29：【問40】豊岡市で暮らすことに価値や魅力を感じるか

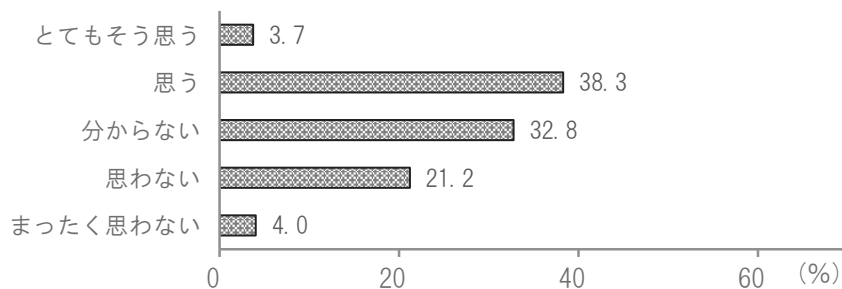
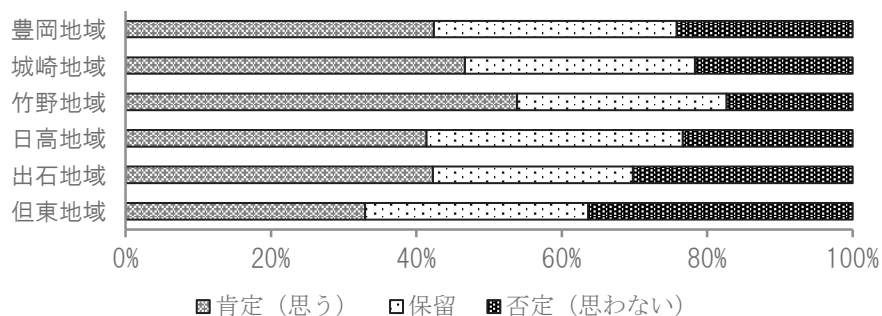
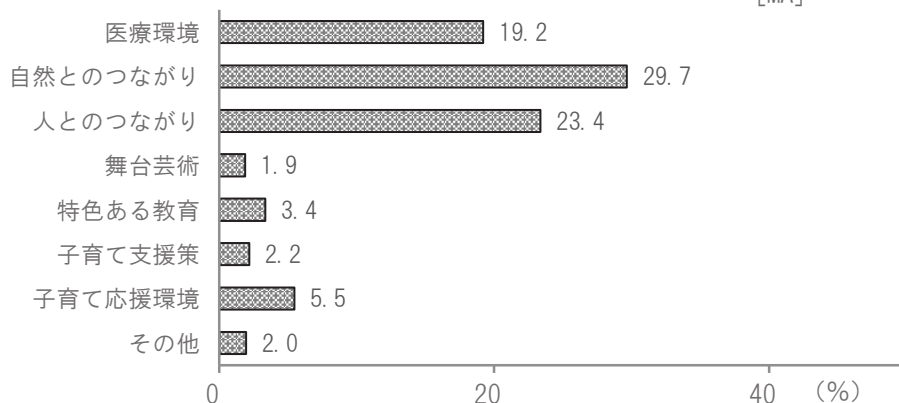


図30：【問40】豊岡市で暮らすことに価値や魅力を感じるか <地域別>



【問41】で、豊岡で暮らすことに価値や魅力を感じていると回答した市民に、その魅力を尋ねたところ、「自然」が最も多く29.7%であった。続いて、「人とのつながり」、「整った医療環境」が多く、これら以外の項目を選択した市民は僅少であった【図31】。

図31：【問41】 豊岡市で暮らす価値や魅力を感じるものは？
[MA]

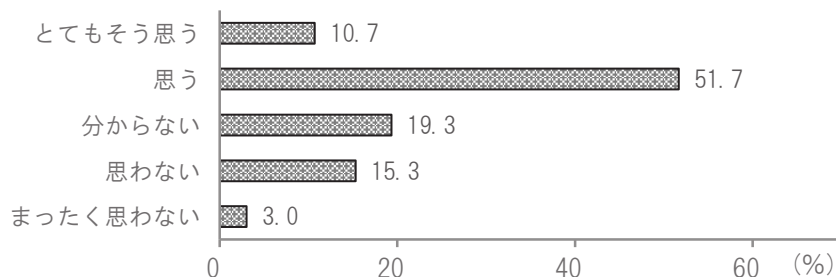


*1 一流の舞台芸術に触れる機会

*2 子育てを周りの人や地域が応援してくれる環境

「子どもたちに対し、将来帰ってきて欲しいか」という設問に関し、62.4%が「帰ってきて欲しい」と回答した。逆に「思わない・全く思わない」は約18.3%であった【図32】。

図32：【問42】 子どもたちに将来帰ってきて欲しいか



「思わない・全く思わない」と回答した市民のうち、その事由について、多くの市民が「仕事」を挙げており、豊岡に子どもたちが帰ってくることに、「仕事」が大きな不安となっていることが分かった【表20】。なお、この理由については、自由回答の内容から読み取ったものである。しかし、主要な理由は固定的であると推測されるので、来年度の調査では表20の項目を選択式に変更してはどうか。

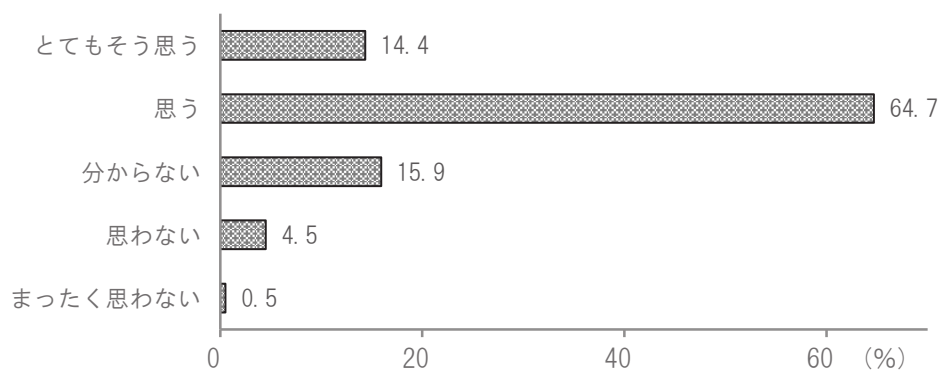
表20：【問42-附問】問42の回答を選んだ理由

No	帰ってきて欲しいと「思わない」理由 (問42 = 1 or 2)	件数	No	帰ってきて欲しいと「思う」理由 (問42 = 4 or 5)	件数
1	仕事(就職先・収入)に不安がある	68	1	少子高齢化・人口減対策のため	162
2	生活が不便(公共交通・医療等)	29	2	地域の活性化のため	110
3	本人の意思を尊重する	27	3	子供・孫に近くに住んでほしい	37
4	豊岡に魅力がない	11	4	家督を継いでほしい	19
5	教育・子育てに不安	7	5	故郷を大切にしてほしい	44
6	その他	14	6	その他	22

「市外出身者の若者増加」に関する市民の意識に関しては、約8割から好意的な回答を得た。逆に否定的な回答は5%と僅少であった【図33】。

【問42】と【問43】の間には、正に有意な相関があり（ $r=0.30$ 、 $p<0.01$ ）、一方が増加すればもう一方も増加する傾向がある。この結果と【問43】の附問で「少子高齢化・人口減少対策」と「地域活性化」の回答が多くみられたことと合わせると、市民の少子高齢化に対する危機感は強く、市出身者・市外出身者を問わず、若者の増加を期待していることが伺える。

図33：【問43】人口減少対策として、市外出身の若者が増えることは良いことだと思うか



3 参考データ

【問1】 あなたの性別は？

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	男性	569	41.6	42.7	42.7
	女性	763	55.7	57.3	100.0
	合計	1332	97.3	100.0	
欠損値	システム欠損値	37	2.7		
合計		1369	100.0		

【問2】 あなたの年齢は？

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	10代	17	1.2	1.3	1.3
	20代	68	5.0	5.1	6.4
	30代	124	9.1	9.3	15.7
	40代	170	12.4	12.7	28.4
	50代	211	15.4	15.8	44.2
	60代	322	23.5	24.1	68.4
	70代	221	16.1	16.6	84.9
	80代	201	14.7	15.1	100.0
	合計	1334	97.4	100.0	
欠損値	システム欠損値	35	2.6		
合計		1369	100.0		

【問3】 あなたの職業は？

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
会社員	291	21.3	22.0	22.0
自営業	142	10.4	10.7	32.7
公務員	80	5.8	6.0	38.8
パート・アルバイト	178	13.0	13.5	52.2
専業主婦	147	10.7	11.1	63.3
有効 学生	28	2.0	2.1	65.5
NPO・NGO	5	0.4	0.4	65.8
2017無職（年金暮らし）2016前その他	407	29.7	30.8	96.6
2017その他	45	3.3	3.4	100.0
合計	1323	96.6	100.0	
欠損値 システム欠損値	46	3.4		
合計	1369	100.0		

【問4】 あなたがお住いの小学校区は？

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
豊岡小学校	158	11.5	12.0	12.0
八条小学校	77	5.6	5.8	17.8
三江小学校	56	4.1	4.2	22.0
田鶴野小学校	36	2.6	2.7	24.7
五荘小学校	163	11.9	12.3	37.1
新田小学校	45	3.3	3.4	40.5
中筋小学校	40	2.9	3.0	43.5
奈佐小学校	23	1.7	1.7	45.2
港東小学校	21	1.5	1.6	46.8
港西小学校	18	1.3	1.4	48.2
神美小学校	35	2.6	2.6	50.8
城崎小学校	62	4.5	4.7	55.5
竹野小学校	32	2.3	2.4	57.9
中竹野小学校	11	0.8	0.8	58.8
竹野南小学校	15	1.1	1.1	59.9
府中小学校	59	4.3	4.5	64.4
八代小学校	13	0.9	1.0	65.4
日高小学校	99	7.2	7.5	72.8
静修小学校	14	1.0	1.1	73.9
三方小学校	44	3.2	3.3	77.2
清滝小学校	48	3.5	3.6	80.9
弘道小学校	61	4.5	4.6	85.5
福住小学校	40	2.9	3.0	88.5
寺坂小学校	9	0.7	0.7	89.2
小坂小学校	30	2.2	2.3	91.5
小野小学校	18	1.3	1.4	92.8
合橋小学校	40	2.9	3.0	95.8
高橋小学校	17	1.2	1.3	97.1
資母小学校	38	2.8	2.9	100.0
合計	1322	96.6	100.0	
欠損値 システム欠損値	47	3.4		
合計	1369	100.0		

【問5】 あなたの同居家族の構成は？

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	ひとり暮らし	142	10.4	10.7
	夫婦のみ	384	28.0	29.0
	夫婦と子ども	157	11.5	11.9
	ひとり親と子ども	15	1.1	1.1
	二世世代家族	411	30.0	31.0
	三世世代家族	181	13.2	13.7
	その他	34	2.5	2.6
	合計	1324	96.7	100.0
欠損値	システム欠損値	45	3.3	
合計		1369	100.0	

【問6】 あなたの同居家族に小学生以下の子どもがいる場合は、その人数を教えてください。

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	1	108	7.9	50.0
	2	80	5.8	37.0
	3	22	1.6	10.2
	4	2	0.1	0.9
	5	1	0.1	0.5
	6	3	0.2	1.4
	合計	216	15.8	100.0
欠損値	システム欠損値	1153	84.2	
合計		1369	100.0	

【問7】 あなたの区では、災害時、被害を軽減するために「住民同士の助け合い行動ができる」と思いますか？

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	まったく思わない	35	2.6	2.7
	思わない	109	8.0	8.3
	分からない	436	31.8	33.2
	思う	699	51.1	53.3
	とてもそう思う	33	2.4	2.5
	合計	1312	95.8	100.0
欠損値 システム欠損値	57	4.2		
合計	1369	100.0		

【問8】 あなたは市や区で開催される防災訓練（市民総参加訓練、消火器取扱い訓練、避難訓練、ワークショップなどの図上訓練、救命講習など）に参加したことがありますか？

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	ほぼ毎回参加する	198	14.5	15.1
	ときどき参加する	260	19.0	19.8
	少なくとも一度は参加したことがある	383	28.0	29.1
	参加したことがない	429	31.3	32.6
	区で訓練を行っていない	44	3.2	3.3
	合計	1314	96.0	100.0
欠損値 システム欠損値	55	4.0		
合計	1369	100.0		

【問9】 あなたは災害に備えて次のことを実践していますか？

A. 消火器を設置している（最寄りの設置場所を知っている）

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	いいえ	425	31.0	31.0
	はい	944	69.0	69.0
	合計	1369	100.0	100.0

【問9】 あなたは災害に備えて次のことを実践していますか？

B. 住宅用火災警報器を設置している

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	いいえ	256	18.7	18.7
	はい	1113	81.3	100.0
	合計	1369	100.0	

【問9】 あなたは災害に備えて次のことを実践していますか？

C. 非常持出し袋を準備している

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	いいえ	1046	76.4	76.4
	はい	323	23.6	100.0
	合計	1369	100.0	

【問9】 あなたは災害に備えて次のことを実践していますか？

D. 家具の転倒防止を施している

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	いいえ	1155	84.4	84.4
	はい	214	15.6	100.0
	合計	1369	100.0	

【問9】 あなたは災害に備えて次のことを実践していますか？

E. 住宅の耐震診断や耐震改修を行っている

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	いいえ	1223	89.3	89.3
	はい	146	10.7	100.0
	合計	1369	100.0	

【問9】 あなたは災害に備えて次のことを実践していますか？

F. 最寄りの避難場所を確認している

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	いいえ	437	31.9	31.9	31.9
	はい	932	68.1	68.1	100.0
	合計	1369	100.0	100.0	

【問9】 あなたは災害に備えて次のことを実践していますか？

G. 避難ルートを確認している

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	いいえ	843	61.6	61.6	61.6
	はい	526	38.4	38.4	100.0
	合計	1369	100.0	100.0	

【問9】 あなたは災害に備えて次のことを実践していますか？

H. 有事の際、助けが必要な（または自分を助けてくれる）近所の人是否存在を認識している

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	いいえ	895	65.4	65.4	65.4
	はい	474	34.6	34.6	100.0
	合計	1369	100.0	100.0	

【問9】 あなたは災害に備えて次のことを実践していますか？

I. 有事の際の避難行動について、家族と話し合っている（避難場所や連絡の方法など）

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	いいえ	999	73.0	73.0	73.0
	はい	370	27.0	27.0	100.0
	合計	1369	100.0	100.0	

【問9】 あなたは災害に備えて次のことを実践していますか？

J. その他

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効 はい	9	0.7	100.0	100.0
欠損値 システム欠損値	1360	99.3		
合計	1369	100.0		

【問10】 あなたは現在、自分が健康だと思えますか？

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
無回答	50	3.7	3.7	3.7
まったく思わない	47	3.4	3.4	7.1
思わない	448	32.7	32.7	39.8
有効 思う	781	57.0	57.0	96.9
とてもそう思う	43	3.1	3.1	100.0
合計	1369	100.0	100.0	

【問11】 あなたはご自身の健康のために現在どのようなことを心がけていますか？

A. 食生活に気をつける

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
回答なし	460	33.6	33.6	33.6
有効 はい	909	66.4	66.4	100.0
合計	1369	100.0	100.0	

【問11】 あなたはご自身の健康のために現在どのようなことを心がけていますか？

B. 虫歯や歯周病にならないよう歯の健康に気をつける

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
回答なし	795	58.1	58.1	58.1
有効 はい	574	41.9	41.9	100.0
合計	1369	100.0	100.0	

【問11】 あなたはご自身の健康のために現在どのようなことを心がけていますか？

C. 睡眠や休養を十分にとる

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	回答なし	538	39.3	39.3	39.3
	はい	831	60.7	60.7	100.0
	合計	1369	100.0	100.0	

【問11】 あなたはご自身の健康のために現在どのようなことを心がけていますか？

D. 適正体重を認識し体重をコントロールしている

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	回答なし	899	65.7	65.7	65.7
	はい	470	34.3	34.3	100.0
	合計	1369	100.0	100.0	

【問11】 あなたはご自身の健康のために現在どのようなことを心がけていますか？

E. 定期的に健康管理や健康診断を受診する

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	回答なし	547	40.0	40.0	40.0
	はい	822	60.0	60.0	100.0
	合計	1369	100.0	100.0	

【問11】 あなたはご自身の健康のために現在どのようなことを心がけていますか？

F. 運動やスポーツなど積極的に体を動かす

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	回答なし	1001	73.1	73.1	73.1
	はい	368	26.9	26.9	100.0
	合計	1369	100.0	100.0	

【問11】 あなたはご自身の健康のために現在どのようなことを心がけていますか？

G. 健康についての知識や情報を得る

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
	回答なし	884	64.6	64.6	64.6
有効	はい	485	35.4	35.4	100.0
	合計	1369	100.0	100.0	

【問11】 あなたはご自身の健康のために現在どのようなことを心がけていますか？

H. 趣味や旅行など生きがい（楽しみ）を持つ

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
	回答なし	797	58.2	58.2	58.2
有効	はい	572	41.8	41.8	100.0
	合計	1369	100.0	100.0	

【問11】 あなたはご自身の健康のために現在どのようなことを心がけていますか？

I. ボランティア活動や地域の活動に参加する

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
	回答なし	1152	84.1	84.1	84.1
有効	はい	217	15.9	15.9	100.0
	合計	1369	100.0	100.0	

【問11】 あなたはご自身の健康のために現在どのようなことを心がけていますか？

J. 何もしていない

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
	回答なし	1301	95.0	95.0	95.0
有効	はい	68	5.0	5.0	100.0
	合計	1369	100.0	100.0	

【問11】 あなたはご自身の健康のために現在どのようなことを心がけていますか？

K. その他

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
回答なし	1354	98.9	98.9	98.9
有効 はい	15	1.1	1.1	100.0
合計	1369	100.0	100.0	

【問12】 あなたは健康維持・増進のために運動（1日30分以上）をしていますか？

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
ほぼ毎日している	159	11.6	12.2	12.2
週に3日以上している	167	12.2	12.8	25.0
有効 週に2日している	169	12.3	13.0	37.9
週に1日以下	196	14.3	15.0	53.0
していない	614	44.9	47.0	100.0
合計	1305	95.3	100.0	
欠損値 システム欠損値	64	4.7		
合計	1369	100.0		

【問13】 【問12】の回答で(1)～(4)を選択した方にお尋ねします。その運動はどのくらい継続されていますか？

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
1年以上	500	36.5	77.3	77.3
6か月～1年未満	50	3.7	7.7	85.0
有効 3か月～6か月未満	41	3.0	6.3	91.3
3か月未満	56	4.1	8.7	100.0
合計	647	47.3	100.0	
欠損値 システム欠損値	722	52.7		
合計	1369	100.0		

【問14】 あなたと一緒に健康づくりをする仲間がいますか？

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	たくさんいる	55	4.0	4.3
	まあまあいる	278	20.3	21.6
	どちらともいえない	198	14.5	15.4
	あまりいない	394	28.8	30.6
	まったくいない	364	26.6	28.2
	合計	1289	94.2	100.0
欠損値	システム欠損値	80	5.8	
合計	1369	100.0		

【問15】 運動ができる公園や健康増進施設など、身近なところで健康づくりのできる環境が整っていると思いますか？

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	まったく思わない	96	7.0	7.3
	思わない	410	29.9	31.1
	分からない	369	27.0	28.0
	思う	428	31.3	32.5
	とてもそう思う	15	1.1	1.1
	合計	1318	96.3	100.0
欠損値	システム欠損値	51	3.7	
合計	1369	100.0		

【問16】 豊岡市は、環境に優しいまちだと思いますか？

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	まったく思わない	27	2.0	2.0
	思わない	201	14.7	15.1
	分からない	590	43.1	44.3
	思う	497	36.3	37.3
	とてもそう思う	16	1.2	1.2
	合計	1331	97.2	100.0
欠損値	システム欠損値	38	2.8	
合計	1369	100.0		

【問17】 豊岡市は、近年、経済的に豊かになってきていると思いますか？

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	まったく思わない	153	11.2	11.4
	思わない	625	45.7	46.5
	分からない	467	34.1	34.7
	思う	93	6.8	6.9
	とてもそう思う	7	0.5	0.5
	合計	1345	98.2	100.0
欠損値	システム欠損値	24	1.8	
合計	1369	100.0		

【問18】 日常生活で省エネを意識していますか？

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	まったくしていない	15	1.1	1.1
	していない	180	13.1	13.4
	分からない	132	9.6	9.9
	している	949	69.3	70.9
	とてもしている	63	4.6	4.7
	合計	1339	97.8	100.0
欠損値	システム欠損値	30	2.2	
合計	1369	100.0		

【問19】 日常生活で環境に配慮した商品を意識して購入していますか？

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	まったくしていない	27	2.0	2.0
	していない	356	26.0	26.6
	分からない	326	23.8	24.4
	している	613	44.8	45.9
	とてもしている	14	1.0	1.0
	合計	1336	97.6	100.0
欠損値	システム欠損値	33	2.4	
合計	1369	100.0		

【問20】 豊岡市の市民や事業者の皆さまによる環境を良くする取組みが、豊岡市の経済にもプラスになると思いますか？

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	まったく思わない	17	1.2	1.3
	思わない	123	9.0	9.2
	分からない	550	40.2	41.0
	思う	616	45.0	45.9
	とてもそう思う	35	2.6	2.6
	合計	1341	98.0	100.0
欠損値	システム欠損値	28	2.0	
合計	1369	100.0		

【問21】 豊岡市は、国内外から人が集まる、賑わい活気にあふれたまちだと思いますか？

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	まったく思わない	83	6.1	6.3
	思わない	555	40.5	41.9
	分からない	432	31.6	32.6
	思う	241	17.6	18.2
	とてもそう思う	15	1.1	1.1
	合計	1326	96.9	100.0
欠損値	システム欠損値	43	3.1	
合計	1369	100.0		

【問22】 あなたの地域（合併前の旧市町）にもっと観光客が来てほしいと思いますか？

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	まったく思わない	20	1.5	1.5
	思わない	237	17.3	17.8
	分からない	258	18.8	19.4
	思う	731	53.4	55.0
	とてもそう思う	82	6.0	6.2
	合計	1328	97.0	100.0
欠損値	システム欠損値	41	3.0	
合計	1369	100.0		

【問23】 市外の人に、豊岡市を、訪れる価値のあるまちとして勧めたいと思いますか？

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント	
有効	まったく思わない	27	2.0	2.0	2.0
	思わない	244	17.8	18.4	20.5
	分からない	378	27.6	28.6	49.1
	思う	631	46.1	47.7	96.7
	とてもそう思う	43	3.1	3.3	100.0
	合計	1323	96.6	100.0	
欠損値 システム欠損値	46	3.4			
合計	1369	100.0			

【問24】 現在、仕事あるいはボランティアとして、豊岡市を訪れる観光客への「おもてなし」活動に関わっていますか？

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント	
有効	はい	60	4.4	4.5	4.5
	いいえ	1261	92.1	95.5	100.0
	合計	1321	96.5	100.0	
欠損値 システム欠損値	48	3.5			
合計	1369	100.0			

【問25】 【問24】で(2)いいえを選択した方にお尋ねします。機会があれば、観光ボランティア・ガイドなどとして、豊岡市の「おもてなし」に関わりたいと思いますか？

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント	
有効	まったく思わない	100	7.3	8.5	8.5
	思わない	592	43.2	50.2	58.6
	分からない	326	23.8	27.6	86.3
	思う	154	11.2	13.1	99.3
	とてもそう思う	8	0.6	0.7	100.0
	合計	1180	86.2	100.0	
欠損値 システム欠損値	189	13.8			
合計	1369	100.0			

【問26】 豊岡市の魅力的な観光資源は何ですか？ 最も魅力的

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
城崎温泉	544	39.7	58.1	58.1
城下町出石	36	2.6	3.8	61.9
コウノトリ	117	8.5	12.5	74.4
神鍋高原	21	1.5	2.2	76.6
竹野海岸	15	1.1	1.6	78.2
但東のチューリップ	8	0.6	0.9	79.1
有効 自然・景観	56	4.1	6.0	85.1
松葉ガニ	52	3.8	5.5	90.6
但馬牛	32	2.3	3.4	94.0
山陰海岸ジオパーク	53	3.9	5.7	99.7
その他	3	0.2	0.3	100.0
合計	937	68.4	100.0	
欠損値 システム欠損値	432	31.6		
合計	1369	100.0		

【問26】 豊岡市の魅力的な観光資源は何ですか？ 2番目に魅力的

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
城崎温泉	182	13.3	19.6	19.6
城下町出石	205	15.0	22.0	41.6
コウノトリ	129	9.4	13.9	55.5
神鍋高原	44	3.2	4.7	60.2
竹野海岸	32	2.3	3.4	63.7
但東のチューリップ	8	0.6	0.9	64.5
有効 自然・景観	58	4.2	6.2	70.8
松葉ガニ	114	8.3	12.3	83.0
但馬牛	88	6.4	9.5	92.5
山陰海岸ジオパーク	66	4.8	7.1	99.6
その他	4	0.3	0.4	100.0
合計	930	67.9	100.0	
欠損値 システム欠損値	439	32.1		
合計	1369	100.0		

【問26】 豊岡市の魅力的な観光資源は何ですか？ 3番目に魅力的

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント	
有効	城崎温泉	66	4.8	7.3	7.3
	城下町出石	130	9.5	14.3	21.6
	コウノトリ	147	10.7	16.2	37.8
	神鍋高原	71	5.2	7.8	45.6
	竹野海岸	33	2.4	3.6	49.2
	但東のチューリップ	27	2.0	3.0	52.2
	自然・景観	87	6.4	9.6	61.8
	松葉ガニ	133	9.7	14.6	76.4
	但馬牛	102	7.5	11.2	87.7
	山陰海岸ジオパーク	106	7.7	11.7	99.3
	その他	6	0.4	0.7	100.0
	合計	908	66.3	100.0	
欠損値	システム欠損値	461	33.7		
合計		1369	100.0		

【問27】 豊岡市の公共交通は便利だと思いますか？

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント	
有効	まったく思わない	297	21.7	22.4	22.4
	思わない	719	52.5	54.1	76.5
	分からない	190	13.9	14.3	90.8
	思う	118	8.6	8.9	99.7
	とてもそう思う	4	0.3	0.3	100.0
	合計	1328	97.0	100.0	
欠損値	システム欠損値	41	3.0		
合計		1369	100.0		

【問28】 日常生活で、公共交通を使うよう心がけていますか？

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	まったくしていない	324	23.7	24.4
	していない	679	49.6	51.2
	どちらとも言えない	177	12.9	13.3
	している	129	9.4	9.7
	大変している	17	1.2	1.3
	合計	1326	96.9	100.0
欠損値	システム欠損値	43	3.1	
合計	1369	100.0		

【問29】 あなたが、公共交通を使う際の主な目的は何ですか？

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	通勤・通学	68	5.0	6.9
	通院	192	14.0	19.6
	銀行・郵便局・市役所などでの用事	18	1.3	1.8
	日常的な食料品や生活雑貨などの買い物	77	5.6	7.8
	娯楽（レジャー、飲食など）	383	28.0	39.0
	業務・仕事（出張、顧客訪問など勤務先以外での仕事）	156	11.4	15.9
	その他	88	6.4	9.0
合計	982	71.7	100.0	
欠損値	システム欠損値	387	28.3	
合計	1369	100.0		

【問30】 あなたの地域にはどのような公共交通が必要だと思いますか？ 最も必要

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効				
バス	631	46.1	52.2	52.2
特急バス	52	3.8	4.3	56.5
タクシー	52	3.8	4.3	60.8
乗合タクシー	135	9.9	11.2	72.0
鉄道	298	21.8	24.6	96.6
飛行機	19	1.4	1.6	98.2
その他	22	1.6	1.8	100.0
合計	1209	88.3	100.0	
欠損値 システム欠損値	160	11.7		
合計	1369	100.0		

【問30】 あなたの地域にはどのような公共交通が必要だと思いますか？ 2番目に必要

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効				
バス	265	19.4	23.7	23.7
特急バス	139	10.2	12.5	36.2
タクシー	219	16.0	19.6	55.8
乗合タクシー	250	18.3	22.4	78.2
鉄道	203	14.8	18.2	96.4
飛行機	35	2.6	3.1	99.6
その他	5	0.4	0.4	100.0
合計	1116	81.5	100.0	
欠損値 システム欠損値	253	18.5		
合計	1369	100.0		

【問30】 あなたの地域にはどのような公共交通が必要だと思いますか？ 3番目に必要

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
バス	125	9.1	12.4	12.4
特急バス	136	9.9	13.5	25.9
タクシー	268	19.6	26.6	52.6
乗合タクシー	170	12.4	16.9	69.5
有効 鉄道	190	13.9	18.9	88.4
飛行機	91	6.6	9.0	97.4
その他	26	1.9	2.6	100.0
合計	1006	73.5	100.0	
欠損値 システム欠損値	363	26.5		
合計	1369	100.0		

【問31】 ビジネス・レジャー等の際の主な移動手段についてお聞きします。

(1) 大阪・神戸方面へ出かけるとき、主にどの移動手段を利用しますか？

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
鉄道	388	28.3	30.3	30.3
バス	77	5.6	6.0	36.3
自動車	726	53.0	56.6	92.9
有効 飛行機	4	0.3	0.3	93.2
その他	5	0.4	0.4	93.6
大阪・神戸方面に出かけることが 無い	82	6.0	6.4	100.0
合計	1282	93.6	100.0	
欠損値 システム欠損値	87	6.4		
合計	1369	100.0		

【問31】 ビジネス・レジャー等の際の主な移動手段についてお聞きします。

(2) 東京方面へ出かけるとき、主にどの移動手段を利用しますか？

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント	
有効	鉄道	556	40.6	44.1	44.1
	バス	11	0.8	0.9	44.9
	自動車	69	5.0	5.5	50.4
	飛行機	131	9.6	10.4	60.8
	その他	3	0.2	0.2	61.0
	大阪・神戸方面に出かけることが無い	492	35.9	39.0	100.0
	合計	1262	92.2	100.0	
欠損値	システム欠損値	107	7.8		
合計		1369	100.0		

【問32】 豊岡市は子育て世帯が住みやすいまちだと思いますか？

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント	
有効	まったく思わない	64	4.7	5.0	5.0
	思わない	253	18.5	19.7	24.7
	分からない	643	47.0	50.1	74.8
	思う	311	22.7	24.2	99.1
	とてもそう思う	12	0.9	0.9	100.0
	合計	1283	93.7	100.0	
欠損値	システム欠損値	86	6.3		
合計		1369	100.0		

【問33】 現在、仕事またはボランティアとして、子育てを支援したり、地域の子ども会イベントなどの活動に関わったりしていますか？

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント	
有効	はい	152	11.1	11.9	11.9
	いいえ	1130	82.5	88.1	100.0
	合計	1282	93.6	100.0	
欠損値	システム欠損値	87	6.4		
合計		1369	100.0		

【問34】 【問33】で(2)いいえを選択した方にお尋ねします。機会があれば、これらの活動に関わってみようと思いますか？

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント	
有効	まったく思わない	68	5.0	6.6	6.6
	思わない	385	28.1	37.2	43.7
	分からない	360	26.3	34.7	78.5
	思う	213	15.6	20.6	99.0
	とてもそう思う	10	0.7	1.0	100.0
	合計	1036	75.7	100.0	
欠損値 システム欠損値	333	24.3			
合計	1369	100.0			

【問35】 あなた自身、あるいはあなたの周囲で子育てをしている方は、市の子育て支援サービスを活用していますか？（*現在子育て中の方はご自身のことについて、そうでない方は周りの方の様子についてお答えください。）

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント	
有効	まったく思わない	24	1.8	2.4	2.4
	思わない	119	8.7	11.7	14.1
	分からない	592	43.2	58.4	72.6
	思う	261	19.1	25.8	98.3
	とてもそう思う	17	1.2	1.7	100.0
	合計	1013	74.0	100.0	
欠損値 システム欠損値	356	26.0			
合計	1369	100.0			

【問36】 あなた自身、あるいはあなたの周囲で子育てをしている方は、子育てを楽しんでいますか？（*現在子育て中の方はご自身のことについて、そうでない方は周りの方の様子についてお答えください。）

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント	
有効	まったく思わない	15	1.1	1.2	1.2
	思わない	91	6.6	7.4	8.6
	分からない	684	50.0	55.3	63.9
	思う	412	30.1	33.3	97.2
	とてもそう思う	35	2.6	2.8	100.0
	合計	1237	90.4	100.0	
欠損値 システム欠損値	132	9.6			
合計	1369	100.0			

【問37】 食品を購入する時など、その食品や材料が無農薬・減農薬かどうかを意識しますか？

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	まったく意識しない	35	2.6	2.6
	意識しない	241	17.6	18.2
	どちらとも言えない	343	25.1	26.0
	意識する	610	44.6	46.2
	とても意識する	92	6.7	7.0
	合計	1321	96.5	100.0
欠損値 システム欠損値	48	3.5		
合計	1369	100.0		

【問38】 市では、市内で生産した農産物で、農薬（無農薬・減農薬）などの基準を満たしたものを「コウノトリの舞」に認定しています。

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	まったく知らない	320	23.4	24.4
	名前は知っているが購入したことは無い	642	46.9	49.0
	知っており何度か購入したことがある	303	22.1	23.1
	知っており継続的に購入している	46	3.4	3.5
	合計	1311	95.8	100.0
欠損値 システム欠損値	58	4.2		
合計	1369	100.0		

【問39】 【問38】で(2)、(3)を選択した方にお尋ねします。購入（又は継続的に購入）しない理由をお聞かせください。次の一覧から当てはまるものにすべて○をつけてください。

A. 価格が高いから

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効 はい	392	28.6	100.0	100.0
欠損値 システム欠損値	977	71.4		
合計	1369	100.0		

【問39】 【問38】で(2)、(3)を選択した方にお尋ねします。購入（又は継続的に購入）しない理由をお聞かせください。次の一覧から当てはまるものにすべて○をつけてください。

B. 食味が劣ると思うから

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効 はい	19	1.4	100.0	100.0
欠損値 システム欠損値	1350	98.6		
合計	1369	100.0		

【問39】 【問38】で(2)、(3)を選択した方にお尋ねします。購入（又は継続的に購入）しない理由をお聞かせください。次の一覧から当てはまるものにすべて○をつけてください。

C. 欲しい農産物が無い（認定品目が少ない）から

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効 はい	174	12.7	100.0	100.0
欠損値 システム欠損値	1195	87.3		
合計	1369	100.0		

【問39】 【問38】で(2)、(3)を選択した方にお尋ねします。購入（又は継続的に購入）しない理由をお聞かせください。次の一覧から当てはまるものにすべて○をつけてください。

D. 販売している店が限られているから

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効 はい	330	24.1	100.0	100.0
欠損値 システム欠損値	1039	75.9		
合計	1369	100.0		

【問39】 【問38】で(2)、(3)を選択した方にお尋ねします。購入（又は継続的に購入）しない理由をお聞かせください。次の一覧から当てはまるものにすべて○をつけてください。

E. 販売されている農産物をほとんど見かけないから

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効 はい	209	15.3	100.0	100.0
欠損値 システム欠損値	1160	84.7		
合計	1369	100.0		

【問39】 【問38】で(2)、(3)を選択した方にお尋ねします。購入（又は継続的に購入）しない理由をお聞かせください。次の一覧から当てはまるものにすべて○をつけてください。

F. 無農薬・減農薬に魅力を感じないから

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効 はい	28	2.0	100.0	100.0
欠損値 システム欠損値	1341	98.0		
合計	1369	100.0		

【問39】 【問38】で(2)、(3)を選択した方にお尋ねします。購入（又は継続的に購入）しない理由をお聞かせください。次の一覧から当てはまるものにすべて○をつけてください。

G. 買い物のとき、ブランド（生産地や生産方法など）は意識しないから

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効 はい	174	12.7	100.0	100.0
欠損値 システム欠損値	1195	87.3		
合計	1369	100.0		

【問39】 【問38】で(2)、(3)を選択した方にお尋ねします。購入（又は継続的に購入）しない理由をお聞かせください。次の一覧から当てはまるものにすべて○をつけてください。

H. その他

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効 はい	90	6.6	100.0	100.0
欠損値 システム欠損値	1279	93.4		
合計	1369	100.0		

【問40】 あなたは、豊岡市で暮らすことに価値や魅力があると感じて住んでいますか？

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効 まったく思わない	52	3.8	4.0	4.0
思わない	273	19.9	21.2	25.2
分からない	422	30.8	32.8	58.0
思う	493	36.0	38.3	96.3
とてもそう思う	48	3.5	3.7	100.0
合計	1288	94.1	100.0	
欠損値 システム欠損値	81	5.9		
合計	1369	100.0		

【問41】 【問40】で(4)、(5)を選択した方にお尋ねします。あなたにとって、豊岡市で暮らす価値や魅力を感じるものがあるとしたら、それは何ですか？次の一覧の中から、当てはまるものにすべて○をつけてください。

A. 整った医療環境（ドクターヘリ・ドクターカーなど充実した救急医療、安心して子を産める周産期医療センターなど）

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効 はい	263	19.2	100.0	100.0
欠損値 システム欠損値	1106	80.8		
合計	1369	100.0		

【問41】 【問40】で(4)、(5)を選択した方にお尋ねします。あなたにとって、豊岡市で暮らす価値や魅力を感じるものがあるとしたら、それは何ですか？次の一覧の中から、当てはまるものにすべて○をつけてください。

B. 自然とのつながり

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効 はい	406	29.7	100.0	100.0
欠損値 システム欠損値	963	70.3		
合計	1369	100.0		

【問41】 【問40】で(4)、(5)を選択した方にお尋ねします。あなたにとって、豊岡市で暮らす価値や魅力を感じるものがあるとしたら、それは何ですか？次の一覧の中から、当てはまるものにすべて○をつけてください。

C. 人とのつながり

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効 はい	320	23.4	100.0	100.0
欠損値 システム欠損値	1049	76.6		
合計	1369	100.0		

【問41】 【問40】で(4)、(5)を選択した方にお尋ねします。あなたにとって、豊岡市で暮らす価値や魅力を感じるものがあるとしたら、それは何ですか？次の一覧の中から、当てはまるものにすべて○をつけてください。

D. 一流の舞台芸術に触れる機会

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効 はい	26	1.9	100.0	100.0
欠損値 システム欠損値	1343	98.1		
合計	1369	100.0		

【問41】 【問40】で(4)、(5)を選択した方にお尋ねします。あなたにとって、豊岡市で暮らす価値や魅力を感じるものがあるとしたら、それは何ですか？次の一覧の中から、当てはまるものにすべて○をつけてください。
E. 特色ある教育（こども野生復帰、コウノトリをシンボルとした環境教育、途切れない英語教育、演劇手法を取り入れたコミュニケーション能力育成、ふるさとへの愛着を育む教育）

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効 はい	46	3.4	100.0	100.0
欠損値 システム欠損値	1323	96.6		
合計	1369	100.0		

【問41】 【問40】で(4)、(5)を選択した方にお尋ねします。あなたにとって、豊岡市で暮らす価値や魅力を感じるものがあるとしたら、それは何ですか？次の一覧の中から、当てはまるものにすべて○をつけてください。

F. 充実した子育て支援策

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効 はい	30	2.2	100.0	100.0
欠損値 システム欠損値	1339	97.8		
合計	1369	100.0		

【問41】 【問40】で(4)、(5)を選択した方にお尋ねします。あなたにとって、豊岡市で暮らす価値や魅力を感じるものがあるとしたら、それは何ですか？次の一覧の中から、当てはまるものにすべて○をつけてください。

G. 子育てを周りの人や地域が応援してくれる環境

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効 はい	75	5.5	100.0	100.0
欠損値 システム欠損値	1294	94.5		
合計	1369	100.0		

【問41】 【問40】で(4)、(5)を選択した方にお尋ねします。あなたにとって、豊岡市で暮らす価値や魅力を感じるものがあるとしたら、それは何ですか？次の一覧の中から、当てはまるものにすべて○をつけてください。

H. その他

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効 はい	27	2.0	100.0	100.0
欠損値 システム欠損値	1342	98.0		
合計	1369	100.0		

【問42】 進学や就職で豊岡市を出ていく子どもたちに対し、将来帰ってきて欲しいと思いますか？

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	まったく思わない	38	2.8	3.0
	思わない	193	14.1	15.3
	分からない	244	17.8	19.3
	思う	652	47.6	51.7
	とてもそう思う	135	9.9	10.7
	合計	1262	92.2	100.0
欠損値 システム欠損値	107	7.8		
合計	1369	100.0		

【問43】 豊岡市では若者が減り続けていることから、人口減少対策として若者（概ね20～30歳代）の転入に力を入れていきます。市外出身の若者が増えることは良いことだと思いますか？

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	まったく思わない	7	0.5	0.5
	思わない	60	4.4	4.5
	分からない	212	15.5	15.9
	思う	861	62.9	64.7
	とてもそう思う	191	14.0	14.4
	合計	1331	97.2	100.0
欠損値 システム欠損値	38	2.8		
合計	1369	100.0		

【問44】 【問43】で(1)、(2)を選択した方にお尋ねします。そう思う理由をお聞かせください。次の一覧から、当てはまるものにすべて○をつけてください。

A. 若者が増えると地域の秩序が乱れるから

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効 はい	12	0.9	100.0	100.0
欠損値 システム欠損値	1357	99.1		
合計	1369	100.0		

【問44】 【問43】で(1)、(2)を選択した方にお尋ねします。そう思う理由をお聞かせください。次の一覧から、当てはまるものにすべて○をつけてください。

B. 若者とコミュニケーションが取れるか不安だから

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効 はい	19	1.4	100.0	100.0
欠損値 システム欠損値	1350	98.6		
合計	1369	100.0		

【問44】 【問43】で(1)、(2)を選択した方にお尋ねします。そう思う理由をお聞かせください。次の一覧から、当てはまるものにすべて○をつけてください。

C. 若者が地域に溶け込める(馴染む)とは思えないから

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効 はい	35	2.6	100.0	100.0
欠損値 システム欠損値	1334	97.4		
合計	1369	100.0		

【問44】 【問43】で(1)、(2)を選択した方にお尋ねします。そう思う理由をお聞かせください。次の一覧から、当てはまるものにすべて○をつけてください。

D. 若者は数年で出て行ってしまうと思うから

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効 はい	25	1.8	100.0	100.0
欠損値 システム欠損値	1344	98.2		
合計	1369	100.0		

【問44】 【問43】で(1)、(2)を選択した方にお尋ねします。そう思う理由をお聞かせください。次の一覧から、当てはまるものにすべて○をつけてください。

E. 若者がいると何となく不安だから

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効 はい	5	0.4	100.0	100.0
欠損値 システム欠損値	1364	99.6		
合計	1369	100.0		

【問44】 【問43】で(1)、(2)を選択した方にお尋ねします。そう思う理由をお聞かせください。次の一覧から、当てはまるものにすべて○をつけてください。

F. その他

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効 はい	15	1.1	100.0	100.0
欠損値 システム欠損値	1354	98.9		
合計	1369	100.0		

4 テクニカル・ノート

4.1 t 検定

分析対象となる変数がパラメトリック（*データが、正規分布などの特定の分布にしていることを仮定する考え方）である場合に、二つのグループの平均値の差が、「単なる偶然」による差異ではない——即ち「統計的に有意な差」である——ことを確認するための検定方法を t 検定という。「統計的に有意な分析結果」であるかどうかは、「有意水準（p）」によって示され、この値が 0.05 よりも小さい場合、即ち分析の結果が「単なる偶然に過ぎない」確率が 5%以下である場合、「統計的に有意な差異がある」と判断する。

統計的に有意な差があるかどうかを判断するために、二つのグループから「t 値」と呼ばれる指数と、「自由度（*degree of Freedom：df）」と呼ばれる値を算出し、これらの値に基づいて有意性の判断を行う。

一般的に、「t 値」が十分に大きい場合、二つのグループの平均値の差は「統計的に有意」になる。

4.2 カイ 2 乗（ χ^2 ）検定

分析対象となる変数がノンパラメトリック（*データが、正規分布などの特定の分布にしていることを前提としない考え方）である場合に、二つの変数の分布に違いがあるかどうかを検定する統計手法をカイ 2 乗検定という。カイ 2 乗値が十分に大きいと、「二つの変数の間には違いがある」と考えられるが、その判断が統計的に妥当かどうかは、「統計的有意性」によって確認される。t 検定と同様に、「統計的に有意な分析結果」であるかどうかは、「有意水準（p）」によって示され、この値が 0.05 よりも小さい場合、即ち分析の結果が「単なる偶然に過ぎない」確率が 5%以下である場合、「統計的に有意な差異がある」と判断する。

統計的に有意な差があるかどうかを判断するために、二つのグループのデータから「カイ 2 乗値」と呼ばれる指数と、「自由度（*degree of Freedom：df）」と呼ばれる値を算出し、これらの値に基づいて有意性の判断を行う。

一般的に、「カイ 2 乗値」が十分な値を取る場合、二つの変数の違いは「統計的に有意」になる。

4.3 相関分析

二つの連続変数^{*1}の間に、単なる偶然ではない関係——即ち「統計的に有意な関係」——が存在するかどうかを確認するための分析手法を相関分析という。「統計的に有意な分析結果」であるかどうかは、「有意水準（p）」によって示され、この値が 0.05 よりも小さい場合、即ち分析の結果が「単なる偶然に過ぎない」確率が 5%以下である場合、「統計的に有意な分析結果」と判断する。

また、相関関係の強さは「r」で表わされ、「相関関係が全くない」ことを示す「r=0」から、「非常に強い関係がある」ことを示す「r=1」或は「r=-1」までの値をとる。「r=0」から「r=1」までの正の相関関係は「一方が増えれば他方も増える」という比例的な関係を表し、「r=-1」から「r=0」までの負の相関関係は「一方が増えれば他方が減る」という反比例関係を表す。

通常、「r」が「0.7~1.0」程度であれば「強い相関関係」、「0.4~0.6」程度であれば「中

程度の相関関係」、「0.3以下」であれば「弱い相関関係」があると判断する。

r 値	-1.0… -0.7… -0.6… -0.4… -0.3… 0 … 0.3 … 0.4 … 0.6 … 0.7 … 1.0
関係の強さ	(負)強い～(負)中程度～(負)弱い～無関係～(正)弱い～(正)中程度～(負)強い

※1 連続変数：身長や体重のように、連続した数値で計測できる変数を連続変数と呼ぶ。データの分散上の特性から、例えば、男女を{0,1}で表わすような変数（ダミー変数、二値変数と呼ぶ）とは区別される。本報告書で行った相関分析（ピアソンの相関分析）は、連続変数に対する分析手法である。

4.4 回帰分析

関心の対象となる変数を目的変数（従属変数：例「育児満足度」）として設定し、その目的変数に影響を与える要因と考えられる説明変数（独立変数：例「子育て支援サービスの活用」、「子育てボランティアへの関心」）を一つ以上選定して、目的変数（従属変数）と説明変数（独立変数）の間の関係を分析する手法を回帰分析という。

分析結果に示されている主な指標の意味と役割は以下のとおりである。

- F 値：従属変数と独立変数で構成されるモデル全体が、統計的に有意であるか否かを判断するための指数。括弧内は自由度と呼ばれる値で、F 値と自由度の情報からモデルの有意性を判断する。「統計的に有意な分析結果」であるかどうかは、「有意水準 (p)」によって示され、この値が 0.05 よりも小さい場合、即ち分析の結果が「単なる偶然に過ぎない」確率が 5% 以下である場合、「統計的に有意な分析結果」と判断する。
- R² 値：モデルの説明力を示す指数で、0 から 1 までの値をとる。1 に近いほど説明力が高い。
- 非標準化係数：各独立変数に付随する係数で、回帰係数と呼ばれる。この係数の大きさが、その独立変数と従属変数の関連性の強さを表し、絶対値が大きいほど強い関連性があることを意味する。正の係数は、独立変数と従属変数が「正の相関」にあることを意味し、負の係数は「負の相関」にあることを意味する（4.3 相関分析を参照）。また、各係数に「有意水準 (p)」が付されており、統計的有意性が認められない係数については、その数値の大きさによらず、解釈の対象にならない。
- 標準誤差：推定値（回帰係数）の精度を測る指標の一つ。推定値のばらつき程度を表す。この値が小さいほどばらつきが小さく、精度が高い。
- 標準化係数：「非標準化係数」を標準化したもの。単位の異なる複数の独立変数（例：「年収 (円)」、「体重 (kg)」）をひとつのモデルに投入した場合、非標準化係数でこれらの独立変数の影響力を比較することは出来ないが、標準化係数に注目すれば、「従属変数に対して、どの独立変数の影響力が最も大きいか、小さいか」といった、独立変数間の比較が可能になる。但し、統計的有意性が認められない —— 即ち「p」の値が 0.05 よりも大きい —— 場合は、独立変数の解釈や比較は出来ないので注意が必要である。

豊岡市の取組み

豊岡市では、いくつかの政策のうち、次の8つの政策について評価を行い、サービスの改善に結び付けたいと考えています。

- 1 安全・安心のまち
- 2 健康長寿のまち
- 3 環境に優しいまち
- 4 おもてなし観光のまち
- 5 交通の便利なまち
- 6 子育てに優しいまち
- 7 エコ農業のまち
- 8 住みたいと思えるまち

この8つの政策については、下記のような独自の取組みを進めています。

■「協働」型政策改善

8つの政策の計画・実施に際して、市民の皆さまとの「協働」により、ワークショップなどを通じて、皆さまと一緒に豊岡市の政策改善に取り組んでいます。今後も皆さまの協力をよろしくお願いいたします。

「協働」とは、共通の目標に向かって一緒に行動することです。
「協働ワークショップ」では、参加する市民の皆さまと市で協働して「政策」を考えたり、見直ししたりする話し合いを行い、市民の皆さまの経験や知識を政策に反映し、共に実現に向けて行動していきます。



ワークショップの様子

■改善のためのモニタリング

8つの政策の改善に向けて、定期的に政策の効果と進み具合を見るための調査（モニタリング）を行っています。今後も毎年このようなアンケートを実施し、これらの政策が順調に進んでいるかどうか、どうすればもっとうまく行くか、皆さまと一緒に考えていきます。



豊岡市

政策モニタリング調査

日頃から市政にご理解とご協力をいただきありがとうございます。

豊岡市では、現在、8つの政策（次のページ）について、戦略的に成果を出す取組みを進めています。このアンケートは、皆さまのご意見をお聞きすることで、上記の取組みを評価・検討し、今後の取組みを改善するために実施するものです。

なお、このアンケートは、18歳以上の豊岡市民の皆さまの中から3,000人を無作為に抽出して送付しております。アンケートの回答はすべて匿名で処理され、個人に関わる情報が公開されることはありません。また、集計結果は、市の政策改善の目的のみに使用され、その他の目的に使用されることはありません。

アンケート回答の所要時間は約15分です。お忙しいところ恐縮ですが、このアンケートの趣旨をご理解いただき、回答にご協力いただけますようお願い申し上げます。

【返送締め切り日：平成29年5月12日（金）】

平成29年4月20日
豊岡市

《お問い合わせ》

豊岡市：政策調整課 行政改革係 担当：谷口、藤田
電話：0796-21-9022
FAX：0796-24-5932
Eメール：seisakuchousei@city.toyooka.lg.jp

TOYOOKA
つながり恋と暮らさるごと

1 【安全・安心のまち】 について、ご意見をお聞かせください。

*該当する番号に○をつけてください。

【問7】 あなたの区では、災害時、被害を軽減するために「住民同士の助け合い行動ができる」と思えますか？

(1) まったく思わない	(2) 思わない	(3) 分らない	(4) 思う	(5) とても思う
--------------	----------	----------	--------	-----------

【問8】 あなたは市や区で開催される防災訓練（市民総参加訓練、消防器取扱い訓練、避難訓練、ワークショップなどの園上訓練、救命講習など）に参加したことがありますか？

(1) ほぼ毎回参加する	(2) ときどき参加する	(3) 少なくとも一度は参加したことがある	(4) 参加したことがない	(5) 区で訓練を行っているではない
--------------	--------------	-----------------------	---------------	--------------------

【問9】 あなたは災害に備えて次のことを実践していますか？
次の一覧のうち、実践していることにすべて○をつけてください。

A. 消火器を設置している（最寄りの設置場所を知っている）
B. 住居用火災警報器を設置している
C. 非常持出し袋を準備している
D. 家具の転倒防止を施している
E. 住居の耐震診断や耐震補修を行っている
F. 最寄りの避難場所を確認している
G. 避難ルートを確認している
H. 有事の際、助けが必要な（または自分を助けてくれる）近所の人を認識している
I. 有事の際の避難行動について、家族と話し合っている（避難場所や連絡の方法など）
J. その他（ ）

0 回答者（あなた）ご自身についてお答えください。

*該当する番号に○をつけてください。

【問1】 あなたの性別は？

(1) 男性	(2) 女性
--------	--------

【問2】 あなたの年齢は？

(1) 10代	(2) 20代	(3) 30代	(4) 40代	(5) 50代
(6) 60代	(7) 70代	(8) 80代以上		

【問3】 あなたの職業は？

(1) 会社員	(2) 自営業	(3) 公務員	(4) ハート・アルバイト	(5) 専業主婦
(6) 学生	(7) NGO・NPO	(8) 無職（年金暮らし含む）	(9) その他（ ）	

【問4】 あなたが住む小学校区は？

(1) 豊岡小学校	(2) 八家小学校	(3) 三江小学校	(4) 田鶴野小学校	(5) 五辻小学校
(6) 新田小学校	(7) 中野小学校	(8) 奈佐小学校	(9) 港東小学校	(10) 港西小学校
(11) 神美小学校	(12) 城崎小学校	(13) 竹野小学校	(14) 中竹野小学校	(15) 竹野南小学校
(16) 府中小学校	(17) 八代小学校	(18) 日高小学校	(19) 静修小学校	(20) 三方小学校
(21) 清滝小学校	(22) 弘道小学校	(23) 福住小学校	(24) 寺坂小学校	(25) 小坂小学校
(26) 小野小学校	(27) 合津小学校	(28) 高瀬小学校	(29) 資母小学校	

【問5】 あなたの同居家族の構成は？

(1) ひとり暮らし	(2) 夫婦のみ
(3) 夫婦と子ども（未成年）	(4) ひとり親と子ども（未成年）
(5) 二世帯家族（親と子、(3)(4)を除く）	(6) 三世帯家族（親と子と孫）
(7) その他（ ）	

【問6】 あなたの同居家族に小学生以下の子どもがいる場合は、その人数を教えてください。

小学生以下の子ども： _____ 人

【問14】 あなたは一緒に健康づくりをする仲間がいますか？

1) たくさんいる	2) まあまあいる	3) どちらともいえない	4) あまりいない	5) まったくいない
-----------	-----------	--------------	-----------	------------

【問15】 運動ができる公園や健康増進施設など、身近なところで健康づくりのできる環境が整っていると思えますか？

1) まったく思わない	2) 思わない	3) 分らない	4) 思う	5) とても思う
-------------	---------	---------	-------	----------

2 【健康長寿のまち】 について、ご意見をお聞かせください。

*該当する番号に○をつけてください。

【問10】 あなたは現在、自分が健康だと思いますか？

1) まったく思わない	2) 思わない	3) 思う	4) とても思う
-------------	---------	-------	----------

【問11】 あなたはご自身の健康のために現在どのようなことを心がけていますか？ 次の一覧のうち、心がけていることに○をつけてください。

- A. 食生活に気をつける
- B. 虫歯や歯周病にならないよう歯の健康に気をつける
- C. 睡眠や休養を十分にとる
- D. 適正体重を認識し体重をコントロールしている
- E. 定期的に健康診断や健康診断を受診する
- F. 運動やスポーツなど積極的に体を動かす
- G. 健康についての知識や情報を得る
- H. 趣味や旅行など生きがい(楽しみ)を持つ
- I. ボランティア活動や地域の活動に参加する
- J. 何もしていない
- K. その他()

【問12】 あなたは健康維持・増進のために運動(1日30分以上)をしていますか？

1) ほぼ毎日している	2) 週に3日以上している	3) 週に2日している	4) 週に1日以下	5) していない
-------------	---------------	-------------	-----------	----------

⑤) を選択した方は【問14】へ

【問13】 【問12】の回答で①～④) を選択した方にお尋ねします。

その運動はどのくらい継続されていますか？

1) 1年以上	2) 6か月～1年未満	3) 3か月～6か月未満	4) 3か月未満
---------	-------------	--------------	----------

*次は、【問14】に進んでください。

4 【おもてなし観光のまち】 について、ご意見をお聞かせください。

*該当する番号に○をつけてください。

【問21】 豊岡市は、国内外から人が集まる、賑わい活気にあふれたまちだと思いますか？

(1) まったく思わない	(2) 思わない	(3) 分らない	(4) 思う	(5) とても思う
--------------	----------	----------	--------	-----------

【問22】 あなたの地域（合併前の旧市町）にもっと観光客が来てほしいと思いますか？

(1) まったく思わない	(2) 思わない	(3) 分らない	(4) 思う	(5) とても思う
--------------	----------	----------	--------	-----------

【問23】 市外の人に、豊岡市を、訪れる価値のあるまちとして勧めたいと思いますか？

(1) まったく思わない	(2) 思わない	(3) 分らない	(4) 思う	(5) とても思う
--------------	----------	----------	--------	-----------

【問24】 現在、仕事あるいはボランティアとして、豊岡市を訪れる観光客への「おもてなし」活動に関わっていますか？

(1) はい	(2) いいえ
--------	---------

【問25】 【問24】で【2】以外を選んだ方にお尋ねします。

機会があれば、観光ボランティア・ガイドなどとして、豊岡市の「おもてなし」に関わりたいと思いますか？

(1) まったく思わない	(2) 思わない	(3) 分らない	(4) 思う	(5) とても思う
--------------	----------	----------	--------	-----------

*次は、【問26】へ進んでください。

【問26】 豊岡市の魅力的な観光資源は何ですか？

次の一覧から、魅力的だと思う観光資源を3つ選んで[]に記号を書いてください。

<回答記録欄>

・最も魅力的：[]
・2番目に魅力的：[]
・3番目に魅力的：[]

<選択肢欄>

A. 城崎温泉	B. 城下町出石	C. コウノトリ	D. 神鍋高原	E. 竹野海岸
F. 伊豆のチューリップ	G. 自然・景観	H. 松葉カニ	I. 但馬牛	J. 山崎海岸ジオパーク
K. その他 ()				

次のページ >>>

豊岡市 政策モニタリング調査 - 6

3 【環境に優しいまち】 について、ご意見をお聞かせください。

*該当する番号に○をつけてください。

【問16】 豊岡市は、環境に優しいまちだと思いますか？

(1) まったく思わない	(2) 思わない	(3) 分らない	(4) 思う	(5) とても思う
--------------	----------	----------	--------	-----------

【問17】 豊岡市は、近年、経済的に豊かになってきていると思いますか？

(1) まったく思わない	(2) 思わない	(3) 分らない	(4) 思う	(5) とても思う
--------------	----------	----------	--------	-----------

【問18】 日常生活で省エネを意識していますか？

(1) まったく思わない	(2) していない	(3) 分らない	(4) している	(5) とてもしている
--------------	-----------	----------	----------	-------------

【問19】 日常生活で環境に配慮した商品を購入していますか？

(1) まったく思わない	(2) していない	(3) 分らない	(4) している	(5) とてもしている
--------------	-----------	----------	----------	-------------

【問20】 豊岡市の市民や事業者の皆さまによる意識を良くする取組みが、豊岡市の経済にもプラスになると思いますか？

(1) まったく思わない	(2) 思わない	(3) 分らない	(4) 思う	(5) とても思う
--------------	----------	----------	--------	-----------

次のページ >>>

豊岡市 政策モニタリング調査 - 5

【問31】 ビジネス・レジャー等のおときの主な移動手段についてお聞きします。
 注) 複数の移動手段を同じくらい利用している場合でも、最もよく使っているもの1つに
 Oをつけてください。

(1) 大阪・神戸方面へ出かけるとき、主にどの移動手段を利用しますか？

(1) 鉄道	(2) バス	(3) 自動車 (マイカーなど)	(4) 飛行機
(5) その他 ()	(6) 大阪・神戸方面に出かけることが無い		

(2) 東京方面へ出かけるとき、主にどの移動手段を利用しますか？

(1) 鉄道	(2) バス	(3) 自動車 (マイカーなど)	(4) 飛行機
(5) その他 ()	(6) 東京方面に出かけることが無い		

5 【交通の便利なまち】 について、ご意見をお聞かせください。

*該当する番号にOをつけてください。

【問27】 豊岡市の公共交通は便利だと思いますか？

(1) まったく思わない	(2) 思わない	(3) 分からない	(4) 思う	(5) とても思う
--------------	----------	-----------	--------	-----------

【問28】 日常生活で、公共交通を使うよう心がけていますか？

(1) まったくしていない	(2) していない	(3) どちらとも言えない	(4) している	(5) 大変している
---------------	-----------	---------------	----------	------------

【問29】 あなたが、公共交通を使う際の主な目的は何ですか？

次の一覧のうち、使う際の主な目的を1つ選んでOをつけてください。

- A. 通勤・通学
- B. 通院
- C. 銀行・郵便局・市役所などの用事
- D. 日常的な食料品や生活雑貨などの買い物
- E. 娯楽 (レジャー、飲食など)
- F. 業務・仕事 (出張、顧客訪問など勤務先以外の仕事)
- G. その他 ()

【問30】

あなたの地域にはどのような公共交通が必要だと思いますか？
 次の一覧から、必要だと思う公共交通を3つ選んで[]に記号を書いてください。

<回答記載欄>

- ・ 最も必要 : []
- ・ 2番目に必要 : []
- ・ 3番目に必要 : []

<選択肢欄>

A. バス	B. 特急バス	C. タクシー	D. 乗合タクシー	E. 鉄道
F. 飛行機	G. その他 ()			

7 【エコ農業のまち】 について、ご意見をお聞かせください。

*該当する番号に○をつけてください。

【問37】 食品を購入する時など、その食品や材料が無農薬・減農薬かどうかを意識しますか？

(1) まったく意識しない	(2) 意識しない	(3) どちらとも言えない	(4) 意識する	(5) とても意識する
---------------	-----------	---------------	----------	-------------

【問38】 市では、市内で生産した農産物で、農薬（無農薬・減農薬）などの基準を満たしたものを「コウノトリの舞」に認定しています。

あなたは、「コウノトリの舞」という農産物ブランドをご存じますか？



▲認定ロゴマーク

(1) まったく知らない	(2) 名前は知っているが購入したことはない	(3) 知っており何度も購入したことがある	(4) 知っており継続的に購入している
--------------	------------------------	-----------------------	---------------------

【問39】 【問38】で②、③を選択した方にお尋ねします。
購入（又は継続的に購入）しない理由をお聞かせください。次の一覧から当てはまるものにすべて○をつけてください。

A. 価格が高いから
B. 食味が劣ると思うから
C. 欲しい農産物が無い（認定品目が少ない）から
D. 販売している店が限られているから
E. 販売されている農産物をほとんど見かけないから
F. 無農薬・減農薬に魅力を感じないから
G. 買い物のとき、ブランド（生産地や生産方法など）は意識しないから
H. その他（ ）

*次は、【問40】へ進んでください

次のページ >>>

豊岡市 政策モニタリング調査 - 10

6 【子育てに優しいまち】 について、ご意見をお聞かせください。

*該当する番号に○をつけてください。

【問32】 豊岡市は子育て世帯が住みやすいまちだと思いますか？

(1) まったく思わない	(2) 思わない	(3) 分からない	(4) 思う	(5) とても思う
--------------	----------	-----------	--------	-----------

【問33】 現在、仕事またはボランティアとして、子育てを支援したり、地域の子ども会イベントなどの活動に関わっていますか？

(1) はい	(2) いいえ
--------	---------

【問34】 【問33】で②「いいえ」を選択した方にお尋ねします。
機会があれば、これらの活動に関わってみようと思いませんか？

(1) まったく思わない	(2) 思わない	(3) 分からない	(4) 思う	(5) とても思う
--------------	----------	-----------	--------	-----------

*次は、【問35】へ進んでください。

【問35】 あなた自身、あるいはあなたの周囲で子育てをしている方は、市の子育て支援サービスを活用していますか？（*現在子育て中の方はご自身のことについて、そうでない方は周りの方の様子についてお答えください。）

(1) まったく活用しない	(2) 活用していない	(3) 分からない	(4) 活用している	(5) 頻繁に活用している
---------------	-------------	-----------	------------	---------------

【問36】 あなた自身、あるいはあなたの周囲で子育てをしている方は、子育てを楽しんでいますか？（*現在子育て中の方はご自身のことについて、そうでない方は周りの方の様子についてお答えください。）

(1) まったく思わない	(2) 思わない	(3) 分からない	(4) 思う	(5) とても思う
--------------	----------	-----------	--------	-----------

次のページ >>>

豊岡市 政策モニタリング調査 - 9

<質問> よろしければ、【問 42】の回答を選ばれた理由をお聞かせください。

--	--

【問 43】 豊岡市では若者が減り続けていることから、人口減少対策として若者（概ね20～30歳代）の転入に力を入れています。市外出身の若者が増えることは良いことだと思いますか？

(1) まったく思わない	(2) 思わない	(3) 分からない	(4) 思う	(5) とても思う
--------------	----------	-----------	--------	-----------

(3) (4) (5) を選択した方は、【問 42】へ

【問 44】 【問 43】で (1)、(2) を選択した方にお尋ねします。
 そう思う理由をお聞かせください。次の一覧から、当てはまるものすべてに○をつけてください。

A. 若者が増えると地域の秩序が乱れるから
B. 若者とコミュニケーションが取れるか不安だから
C. 若者が地域に溶け込める（馴染む）とは思えないから
D. 若者は数年で出て行ってしまおうと思うから
E. 若者がいると何となく不安だから
F. その他（ ）



アンケートは以上です。
 ご協力、ありがとうございました。

8 【住みたいと思うまち】 について、ご意見をお聞かせください。

*該当する番号、記号に○をつけてください。

【問 40】 あなたは、豊岡市で暮らすことに価値や魅力があると感じていますか？

(1) まったく思わない	(2) 思わない	(3) 分からない	(4) 思う	(5) とても思う
--------------	----------	-----------	--------	-----------

(1) (2) (3) を選択した方は、【問 41】へ

【問 41】 【問 40】で (4)、(5) を選択した方にお尋ねします。

あなたにとって、豊岡市で暮らす価値や魅力を感じるものがあるとしたら、それは何ですか？
 次の一覧から、当てはまるものすべてに○をつけてください。

A. 整った医療機関（ドクターヘリ・ドクターカーなど充実した救急医療、安心して子育て出来る産婦人科医療センターなど）
B. 自然とのつながり
C. 人とのつながり
D. 一流の舞台芸術に触れる機会
E. 特色ある教育（子ども野生放縦、コウノトリをシンボルとした環境教育、途切れぬ英語教育、演劇手法を取り入れたコミュニケーション能力育成、ふるさとへの愛着を育てる教育）
F. 充実した子育て支援策
G. 子育てを周りの人や地域が応援してくれる環境
H. その他（ ）

*次は、【問 42】へ進んでください

【問 42】 進学や就職で豊岡市を出ていく子どもたちに対し、将来帰ってきて欲しいと思いますか？

(1) まったく思わない	(2) 思わない	(3) 分からない	(4) 思う	(5) とても思う
--------------	----------	-----------	--------	-----------

